Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
IDWR
2007年第44週（10月29日～11月4日）：通巻第9巻第44号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-4
＜第44週＞百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向

注目すべき感染症 P.5-7
＜感染性胃腸炎＞
第44週の定点当たり報告数は4.2で、3週連続で増加がみられているが、昨年の同時期と比較すると低い値である

病原体情報 P.8-11
インフルエンザウイルス 2007/08シーズン／感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン／麻疹ウイルス 2007年

速報 P.12-20
アメーバ赤痢 1999年4月～2006年12月／2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型の分離－千葉県／2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型の分離－神奈川県

海外感染症情報 P.21
インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

感染症の話 P.22
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（44週） P.23-29

44週のデータ P.30-42

発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

＜第４４週コメント＞11月7日集計分

◆全数報告の感染症

注意：これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

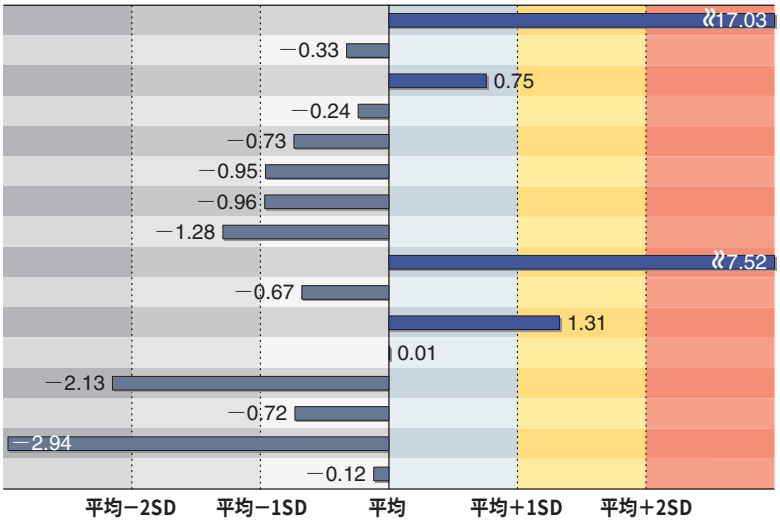
※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症：報告なし
2類感染症：**結核** 292例
3類感染症：**細菌性赤痢** 3例〔感染地域：埼玉県1例、国内（都道府県不明）1例、中国1例〕
腸管出血性大腸菌感染症 70例（うち有症者49例、うちHUS 2例）
感染地域：国内69例、タイ1例
国内の多い感染地域：宮崎県（6例）*、兵庫県（6例）**
*うち5例は保育園における集団発生
**うち4例は高齢者グループホームにおける集団発生
年齢群：10歳未満（30例）、10代（9例）、20代（7例）、30代（9例）、40代（3例）、50代（5例）、60代（1例）、70歳以上（6例）
血清型・毒素型：O157 VT1・VT2（36例）、O157 VT2（9例）、O26 VT1（6例）、O28 VT2（1例）、O111 VT1・VT2（1例）、O145 VT1（1例）、O157 VT1（1例）、その他/不明（15例）
パラチフス 1例（感染地域：インド）
4類感染症：**E型肝炎** 1例（感染地域：滋賀県．感染源：不明）
A型肝炎 1例（感染地域：千葉県）
オウム病 1例（感染地域：宮崎県．感染源：インコ）
つつが虫病 4例（感染地域：神奈川県3例、静岡県1例）
デング熱 1例（感染地域：グアテマラ）
日本紅斑熱 4例（感染地域：島根県1例、熊本県2例、鹿児島県1例）
日本脳炎 2例（感染地域：石川県1例、山口県1例．年齢群：ともに60代）
マラリア 3例　三日熱1例＿感染地域：インドネシア
卵形1例＿感染地域：ガーナ
熱帯熱1例＿感染地域：マレーシア
レジオネラ症 15例（肺炎型14例、ポンティアック型1例）
年齢群：40代1例、50代3例、60代2例、70代3例、80代4例、90代2例
感染地域：埼玉県2例、愛知県2例、北海道1例（温泉）、福島県1例、群馬県1例、東京都1例、新潟県1例、富山県1例、福井県1例、岐阜県1例、鹿児島県1例、国内（都道府県不明）1例、米国1例
レプトスピラ症 1例（感染地域：沖縄県．感染源：河川）
5類感染症：**アメーバ赤痢** 11例（腸管アメーバ症7例、腸管外アメーバ症1例、腸管および腸管外アメーバ症3例）
感染地域：国内9例、国外（国不明）2例
感染経路：性的接触4例（異性間2例、同性間2例）、経口/その他1例、不明6例
ウイルス性肝炎 4例　B型2例＿感染経路：ともに性的接触（異性間）
C型2例＿感染経路：ともに不明
急性脳炎 1例（病原体不明．10代）
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例（孤発性プリオン病古典型）
後天性免疫不全症候群 17例（AIDS 3例、無症候11例、その他3例）
感染地域：国内13例、米国1例、ミャンマー1例、インドネシア1例、国外（国不明）1例
感染経路：性的接触15例（異性間3例、同性間11例、異性間・同性間1例）、不明2例
梅毒 8例（早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、晩期顕症2例、無症候4例）
破傷風 1例（70代）
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
（遺伝子型：*VanC* 1例＿菌検出検体：血液、遺伝子型：不明1例＿菌検出検体：腹水）
（補）他に第43週までに診断されたものの報告遅れとして、日本紅斑熱1例（感染地域：和歌山県）、急性脳炎2例〔サルモネラ菌1例（1歳）、病原体不明1例（80代）〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例（遺伝子型：*VanC*＿菌検出検体：血液）等の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第44週)



	定点当たり報告数
インフルエンザ	0.26
咽頭結膜熱	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21
感染性胃腸炎	4.23
水痘	0.81
手足口病	0.42
伝染性紅斑	0.11
突発性発しん	0.61
百日咳	0.03
風しん	0.00
ヘルパンギーナ	0.16
麻しん	0.01
流行性耳下腺炎	0.26
急性出血性結膜炎	0.02
流行性角結膜炎	0.55
マイコプラズマ肺炎	0.37

SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ:定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(3.03)、和歌山県(0.96)、北海道(0.89)、神奈川県(0.66)、千葉県(0.61)、東京都(0.61)が多い。

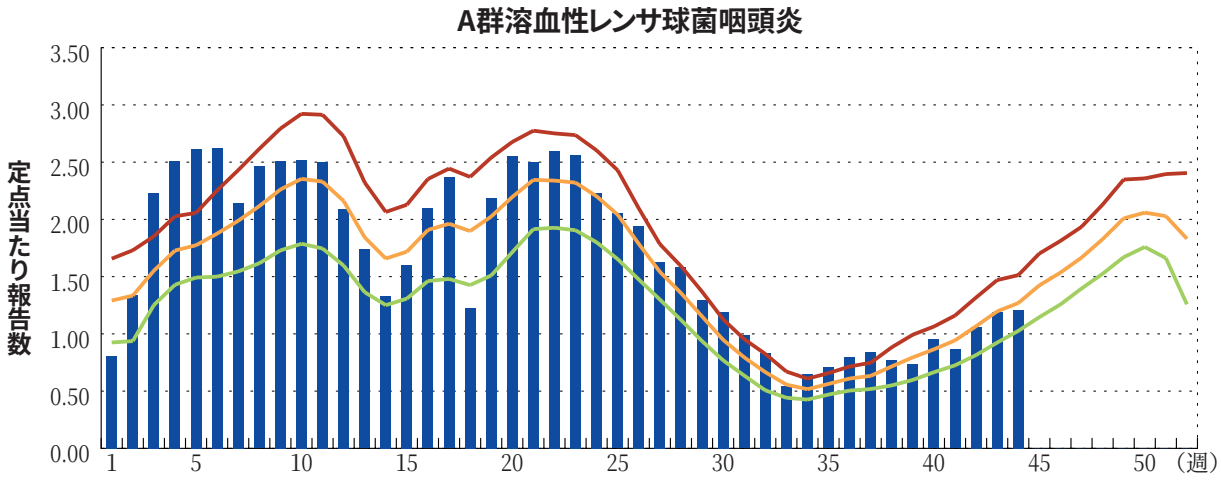
小児科定点報告疾患:**RSウイルス感染症**は722例の報告があり、報告数は3週連続で増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では熊本県(0.40)、青森県(0.36)、佐賀県(0.35)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では鳥取県(2.5)、山形県(2.4)、愛媛県(2.3)、石川県(2.3)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では宮崎県(19.2)、山形県(11.5)、熊本県(9.4)、大分県(8.7)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は第41週以降増加が続いている。都道府県別では岩手県(2.4)、石川県(1.8)、福島県(1.5)、新潟県(1.5)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別では島根県(2.3)、沖縄県(2.2)、大分県(1.8)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(0.54)、福井県(0.36)、宮城県(0.30)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では千葉県(0.13)、長野県(0.09)、沖縄県(0.09)、北海道(0.06)、秋田県(0.06)が多い。**風しん**の報告数は9例と2週連続で増加した。都道府県別では千葉県、東京都から各2例、北海道、秋田県、神奈川県、岡山県、徳島県から各1例であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は第31週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県(0.74)、北海道(0.42)、千葉県(0.35)が多い。**麻しん**の報告数は増加し、11都道府県から19例の報告があった。都道府県別では北海道、福岡県から各3例、青森県、東京都、神奈川県、大阪府から各2例、新潟県、静岡県、愛知県、大分県、鹿児島県から各1例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では秋田県(1.29)、宮崎県(0.63)、群馬県(0.61)が多い。

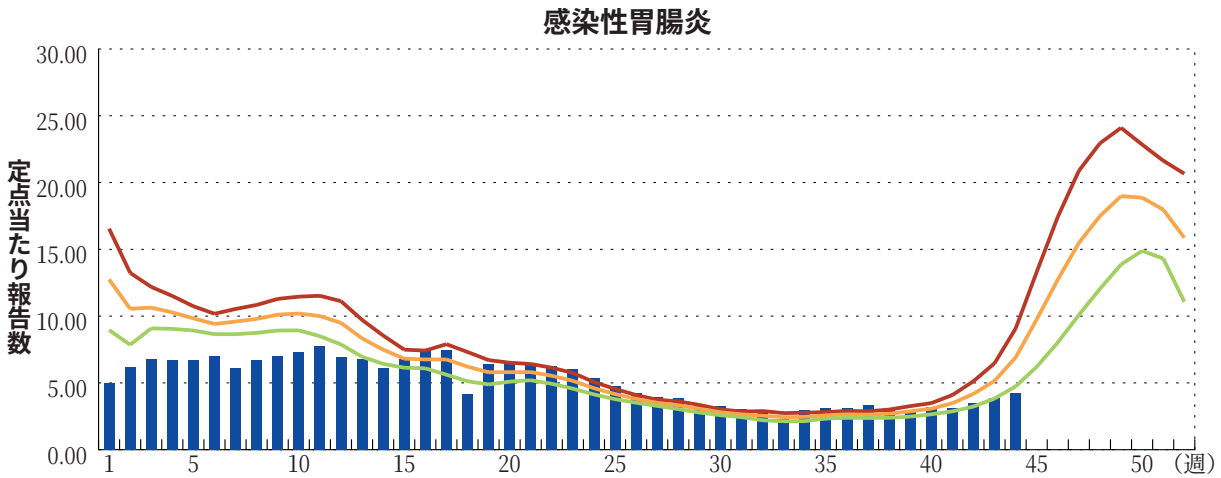
基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県(2.7)、沖縄県(2.4)、宮城県(1.6)、青森県(1.3)が多い。**成人麻しん**の報告数は減少し、5県から7例の報告があった。都道府県別では、山形県、沖縄県から各2例、埼玉県、広島県、長崎県から各1例の順であった。

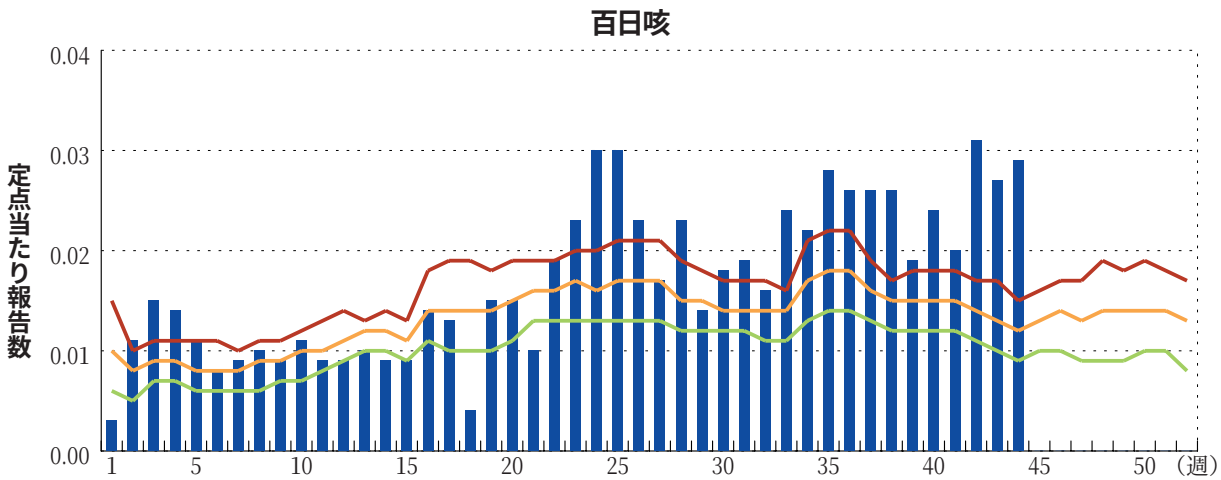
図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較（2007年第1～44週）

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。

*過去5年間の平均：前週、当該週、後週の合計15週の平均







注目すべき感染症

◆感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、多種多様の病原体による疾患を包含する症候群である。現在、5類感染症定点把握疾患に規定されており、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から週単位で報告がなされている。1999年4月の感染症法施行以前の旧感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎(ウイルスまたは細菌による感染性胃腸炎を一括したもの)と乳児嘔吐下痢症が報告対象になっていた。感染性胃腸炎の病原体としては、夏季に増加するサルモネラ、腸炎ビブリオ、下痢原性大腸菌などの細菌もありうるが、実際に報告数が増加するのは冬季であり、多くはノロウイルスやロタウイルス等のウイルスであると推測されている(IASR, Vol. 24. No. 12. p321-322)。また、例年感染症発生動向調査による報告のピークは12月中旬以降となることが多く(**図1**)、その時期の報告、特に集団発生例の多くはノロウイルスによるものと推測される(http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-kj.html)。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日(平均1～2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日(平均1～2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くない。治療では特効薬はなく、対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

これまでノロウイルスの感染経路としては、食中毒としての経口感染がよく知られていたが、患者や無症状病原体保有者の嘔吐物や便、もしくはそれらに汚染された器物等に触れた手指を介しての接触感染や、また嘔吐物や便(下痢便)の飛沫感染あるいは床上の嘔吐物中のウイルスがほこりとともに舞い上がりこれを吸い込むことによる塵埃感染などのヒトーヒト感染があり、その感染力は非常に強い。実際に、乳幼児、児童、高齢者の集団生活施設や病院で、ヒトーヒト間の感染によると思われる集団感染や院内感染がしばしば報告されている。ヒトに感染するノロウイルスはヒトの体内のみで増殖するウイルスであり、現在流行しているノロウイルスも全てヒトからの排泄物を起源としていることからも、このウイルスの主な感染・循環経路はヒトーヒト間の感染であると考えるべきである。このヒトーヒト感染の予防法として重要なことは流水・石鹸による手洗いの徹底であり、また嘔吐物・下痢便の適切な処理と消毒である(「ノロウイルス感染症とその対応・予防」http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/index.html)。

小児科定点の感染症発生動向調査によると、2007年第44週の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.2(報告数12,665)であり、3週連続で増加がみられているが、昨年の同時期(定点当たり報告数7.1、報告数21,251)と比較すると低い値である(**図1**)。都道府県別では宮崎県(19.2)、山形県(11.5)、熊本県(9.4)、大分県(8.7)、島根県(8.0)、福岡県(7.1)、鳥取県(7.0)の順となっている(**図2**)。また、第36週から44週までの9週間の定点当たり累積報告数は30.1(累積報告数92,412)であり、都道府県別では宮崎県(89.0)、島根県(65.7)、大分県(65.5)、鳥取県(52.6)、熊本県(48.6)、福井県(44.9)、福岡県(43.3)の順であり、昨年と同様に西日本からの報告数の増加が目立つ(**図3**)。定点報告の年間累積報告数の各年毎における年齢別割合をみると(2007年は第1～44週)、例年5歳以下で全報告数の60%前後、7歳以下で70%以上を占めており、これは2007年も同様である(**図4**)。

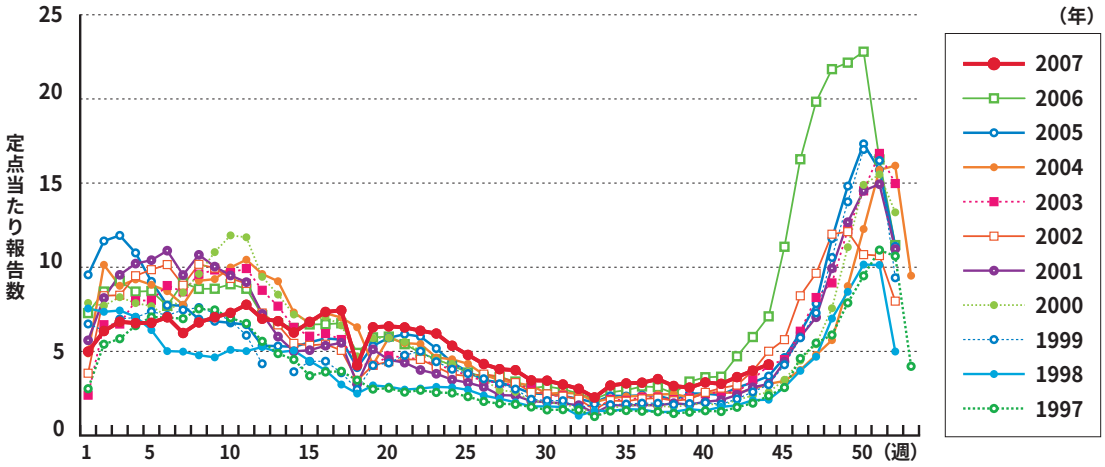


図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況(1997年～2007年第44週)

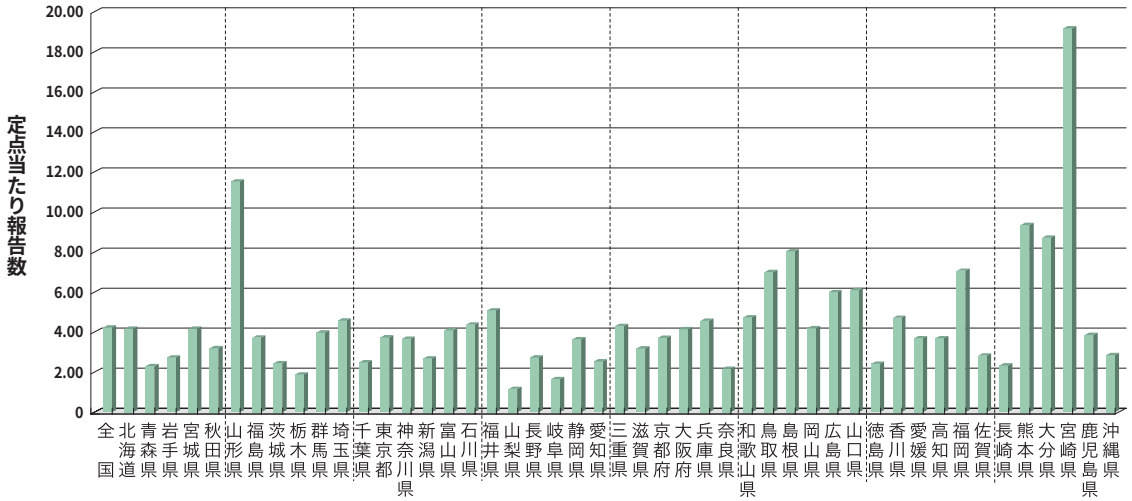


図2. 感染性胃腸炎の都道府県別報告状況(2007年第44週)

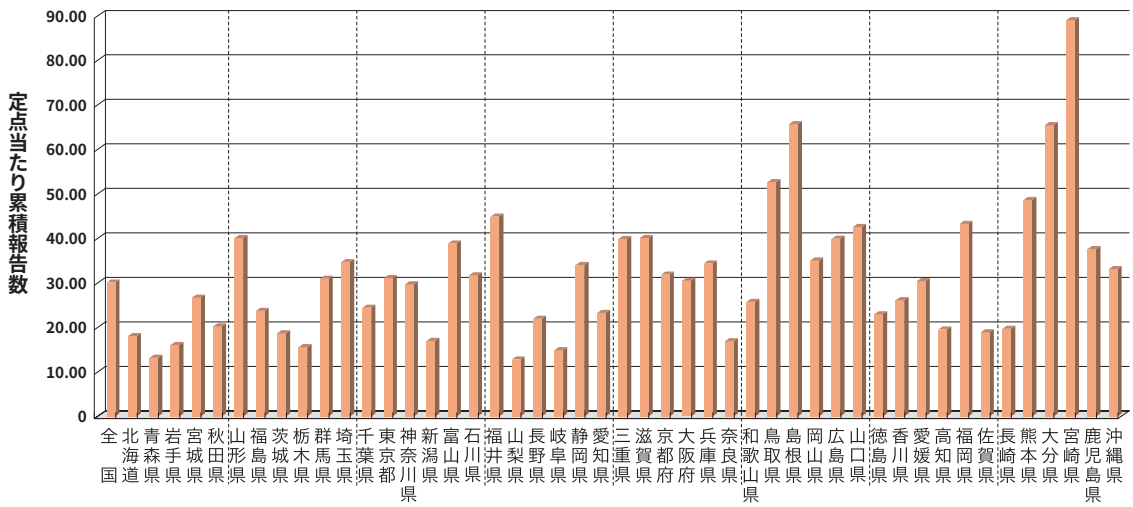


図3. 感染性胃腸炎の都道府県別累積報告状況(2007年第36～44週)

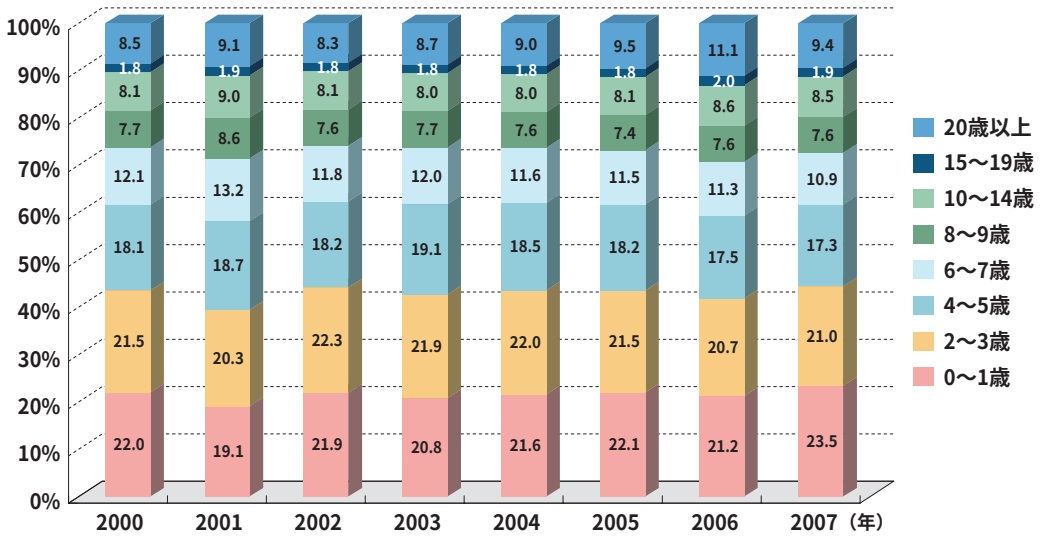


図4. 感染性胃腸炎の報告症例の年別・年齢群別割合(2000年～2007年第44週)

これまでの感染性胃腸炎の発生動向をみると、例年11月及び12月に患者発生数が急激に増加し、その主原因はノロウイルス感染症の流行の増大によるものであると考えられる。2007年の患者発生報告数も、今後12月の報告数のピークに向けて増加してくるものと予想される。感染性胃腸炎の発生動向の推移には、今後とも注意が必要である。

病原体情報

＊グラフはIASRホームページ（http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html）からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所（地研）からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

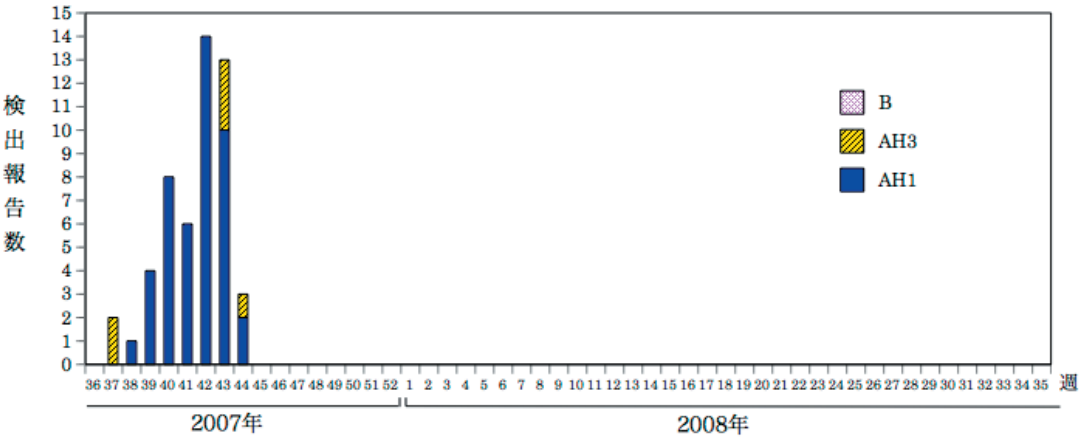
（2007年11月8日現在報告分）

◆インフルエンザウイルス　2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りAH1亜型の報告が増加している。AH1亜型の分離が第38～39週に神奈川県で2件、第39～40週に沖縄県で6件、第41週に兵庫県で1件、第41～42週に千葉県で7件、神奈川県で4件、第42週に滋賀県で4件、第42～43週に大阪府で5件、第43週に北海道、兵庫県で各2件、第44週に東京都で2件、計35件報告されている（本号19～20ページ「速報」参照）。この他にPCRによる検出が10件（第39～40週に沖縄県で5件、第43週に東京都で5件）報告されている。また、AH3亜型の分離は第37週に愛知県で2件、第43～44週に埼玉県で4件、計6件報告されている。B型の報告はまだない。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2007/08シーズン

（病原微生物検出情報：2007年11月8日現在報告数）

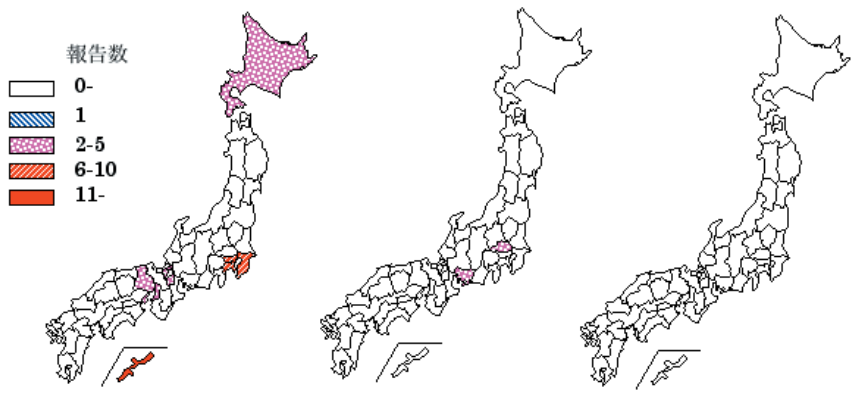


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2007/08シーズン

（病原微生物検出情報：2007年11月8日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

◆感染性胃腸炎関連ウイルス　2007/08シーズン

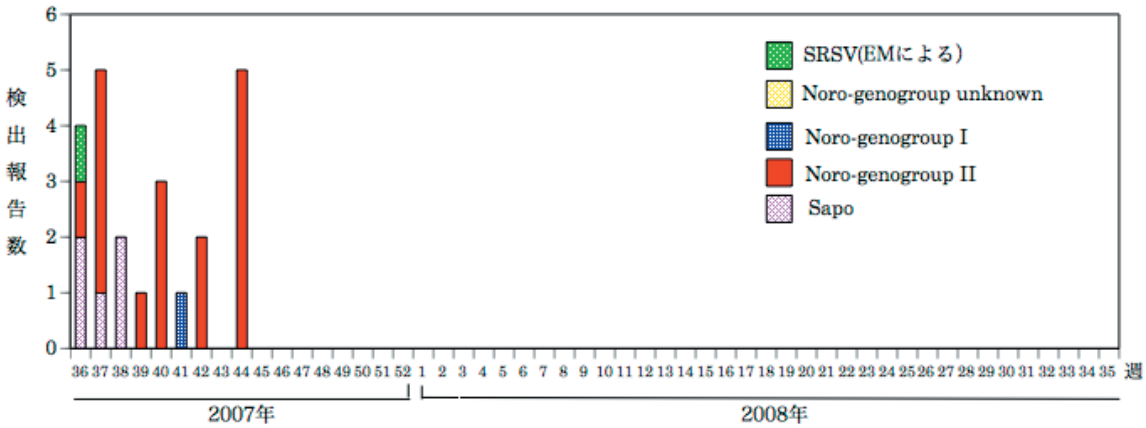
2007/08シーズンに入りノロウイルスgenogroup II 16件、サポウイルス5件、ノロウイルスgenogroup I 1件の検出が報告されている。

ノロウイルスgenogroup IIは第36～37週に奈良県2件、千葉県、島根県、広島県各1件、第39週に島根県1件、第40週に神奈川県3件、第42週に京都府、島根県各1件、第44週に千葉県3件、神奈川県2件、サポウイルスは第36～38週に三重県4件、熊本県1件、ノロウイルスgenogroup Iは第41週に神奈川県1件の検出が報告されている。

この他に、第41～42週に新潟県でノロウイルスgenogroup IIによる保育所、老人施設での集団感染3事例が報告されている（http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html ）。遺伝子型別された1事例ではGII/4が検出されている。

週別ノロウイルス、サポウイルス検出報告数、2007/08シーズン

（病原微生物検出情報：2007年11月8日現在報告数）

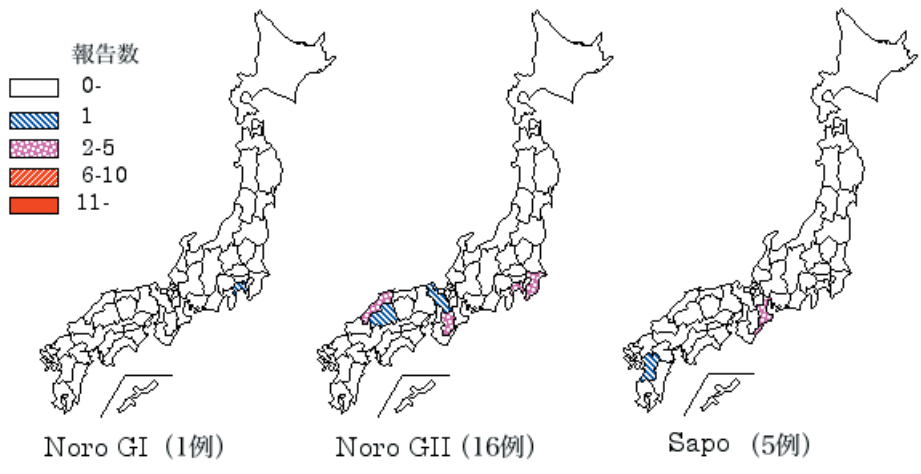


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス検出報告状況、2007/08シーズン

（病原微生物検出情報：2007年11月8日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

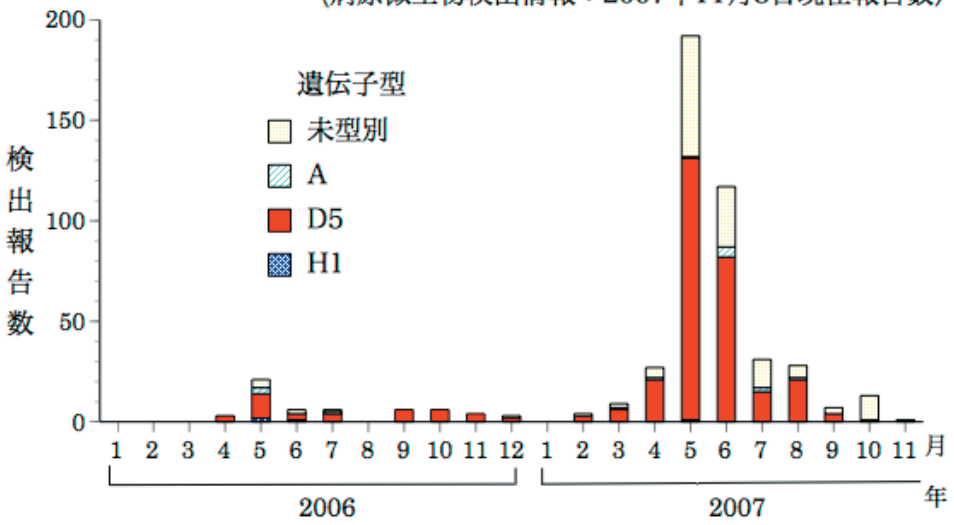
IASR Infectious Agents Surveillance Report

◆麻疹ウイルス　2007年

2007年2～11月に29都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が429件報告されている。遺伝子型別まで実施された295件中283件ではD5型が検出されており、他にはA型11件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県と茨城県、9～12月に沖縄県から報告されていた。2007年は5月をピークに25都道府県から報告されており、7月に6府県から15件、8月に7道府県から21件、9月に3道府県から4件、10月に沖縄県から1件が報告されている。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年11月
(病原微生物検出情報:2007年11月8日現在報告数)

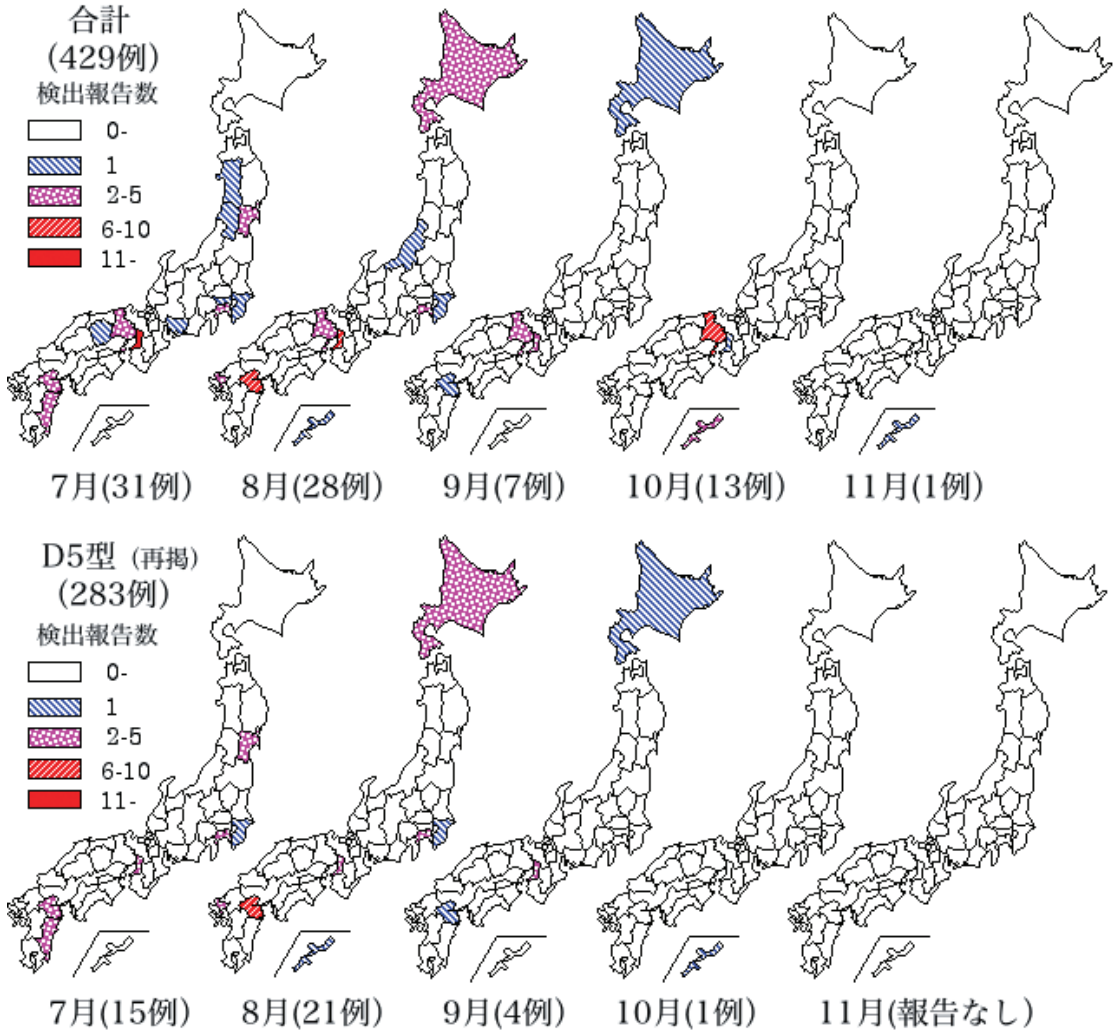


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

月別都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2007年7月～11月

(病原微生物検出情報：2007年11月8日現在報告数)



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

◆アメーバ赤痢 1999年4月～2006年12月

アメーバ赤痢は、寄生性の原虫である赤痢アメーバ(*Entamoeba histolytica*)を病原体とする感染症である。赤痢アメーバの感染嚢子(シスト)に汚染された飲食物などを経口摂取することにより感染する。シストは小腸で脱嚢して栄養型となって、大腸粘膜面に潰瘍性病変を形成する。栄養型は大腸内で被嚢しシストとなって糞便中に排出され感染源となる。

感染者のうち症状を示すのは5～10%とされる。症状は、大腸粘膜の潰瘍病変によって起こる粘血便、下痢、しぶり腹(テネスムス)、鼓腸、排便時の下腹痛が主体である(腸管アメーバ症)。典型例ではイチゴゼリー状の粘血便となり、数日～数週間の間隔で増悪と寛快を繰り返す。増悪例では腸穿孔を起こす事がある。また、腸管アメーバ症の約5%で腸管外にも病変が及ぶことがあり、腸管外アメーバ症と呼ばれる。この多くは腸管部から赤痢アメーバが血行性に転移することによる、肝臓、肺、脳、皮膚などの膿瘍形成である。肝膿瘍がもっとも頻度が高く、発熱、上腹部痛、食欲不振、悪心、嘔吐などの症状が見られる。腸管症状を伴わずに発生する場合もある。またときには、潰瘍の穿孔、肝膿瘍の破裂などをおこし、死に致ることもある。

アメーバ赤痢の発生動向の把握については、かつては伝染病予防法の法定伝染病の「赤痢」に「細菌性赤痢」と「アメーバ性赤痢」が含まれ、届け出られていた。そこでは、赤痢症状を伴う者に加えて、腸管外病変を持つ者、ならびにシストを排泄している無症状病原体保有者が届け出の対象とされていた。現在は感染症法(1999年4月施行)のもとで、独立した疾患として全数把握疾患となっており、診断した全ての医師に届け出が義務付けられている。法施行当初は四類感染症として、2003年の法改正(2003年11月5日施行)により五類感染症として無症状病原体保有者は除き、症状を有する患者のみが届け出の対象となった。

1999年4月から2006年12月の期間に報告されたアメーバ赤痢は合計4,129例であった。年別には1999年(4月～)276例、2000年378例、2001年429例、2002年465例、2003年520例、2004年610例、2005年698例、2006年753例であり、増加が続いている。わが国における罹患率は、2006年において人口10万対0.59人である。4,129例の都道府県別の報告数は東京都(1,048例)、大阪府(549例)、神奈川県(392例)、愛知県(248例)、兵庫県(219例)の順に多く(図2)、人口10万人当たりでは東京都(8.6人)、大阪府(6.2人)、神奈川県(4.6人)、京都府(4.4人)、兵庫県(3.95人)の順に多かった。

感染地域(推定あるいは確定として報告されている)は国内が2,798例(68%)、国外が652例(16%)、不明が679例(16%)であった(図1)。また、2006年3月まで「最近数年間の主な居住地」が届け出られていたが、1999年4月～2006年3月に診断され届け出られた3,530例では、国内が3,339例(国内感染2,308例、国外感染447例、不明584例)、国外が114例(国内感染5例、国外感染93例、不明16例)、不明77例(国内感染4例、国外感染5例、不明68例)であった。

4,129例の性別は、男性3,677例、女性452例(男性/女性＝8.1/1)であり、年齢の中央値は45歳(0～92歳)〔男性のみでは47歳(0～92歳、女性のみでは33歳(0～92歳))であった。

季節や月による報告数の明らかな偏りは認められない。

4,129例中、死亡の報告は27例あり、死亡割合(届出上の致死率)は0.65%であった。27例は男性26例、女性1例で、年齢の中央値は60歳(35～86歳)であった。ただし、死亡の報告は、届け出時点以降の死亡例が十分反映されていない可能性があり、届け出後の死亡については、できるだけ追加報告いただくようお願いしている。

以下では、感染地域が国内および国外のものに分けて、それぞれ述べる。

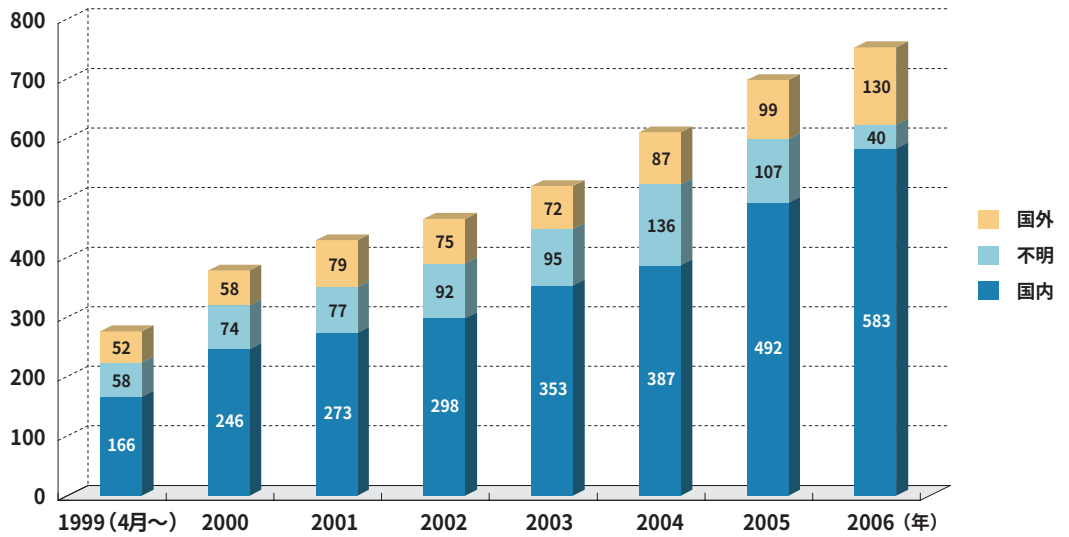


図1. アメーバ赤痢の年別・感染地域別報告状況

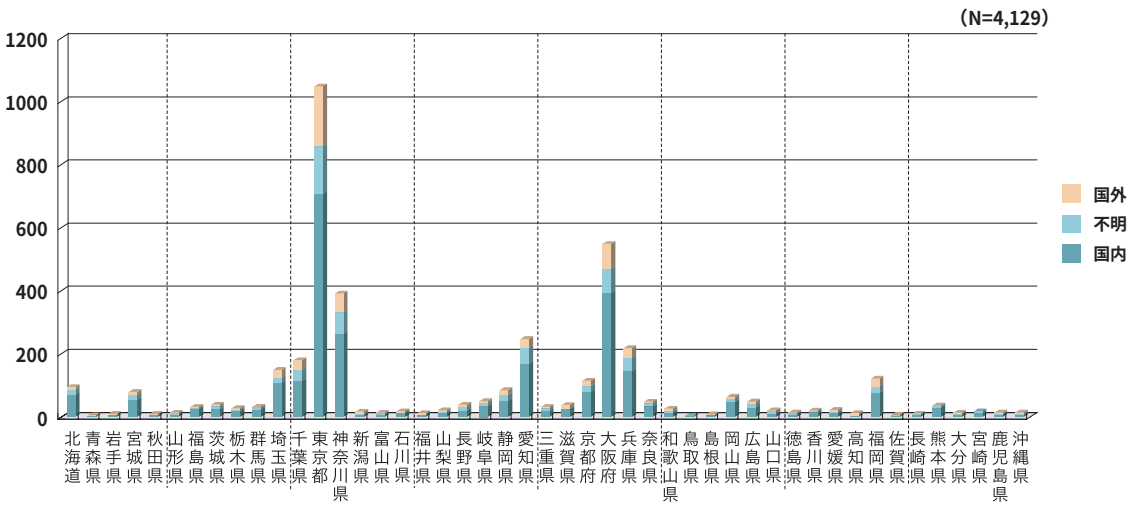


図2. アメーバ赤痢の都道府県別・感染地域別報告状況(1999年4月～2006年12月)

＜国内感染例＞

1999年4月～2006年12月の期間に報告された国内感染のアメーバ赤痢は2,798例あった。年間報告数は男女ともに増加傾向が認められ、2006年(583例)は2000年(246例)の2.4倍であった(**図3**)。2,798例の性別は男性2,475例、女性323例(男性/女性＝7.7/1)で男性に多い。年齢の中央値は45歳(2～92歳)〔男性47歳(4～87歳)、女性34歳(2～92歳)〕で、年齢群別報告数(10歳毎)を性別にみると、男性は30～50代に多く、女性は20～30代が多かった(**図4**)。

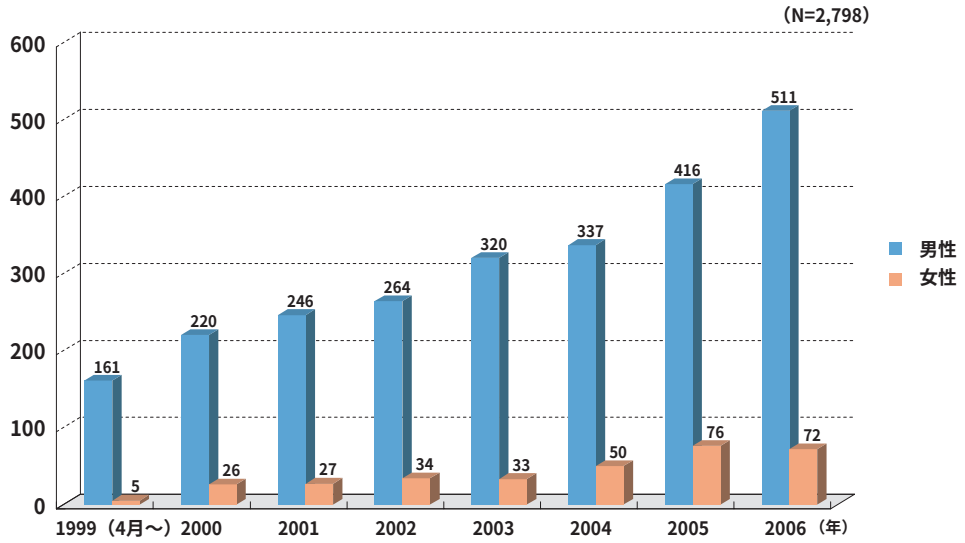


図3. アメーバ赤痢の国内感染例の年別・性別報告状況(1999年4月～2006年12月)

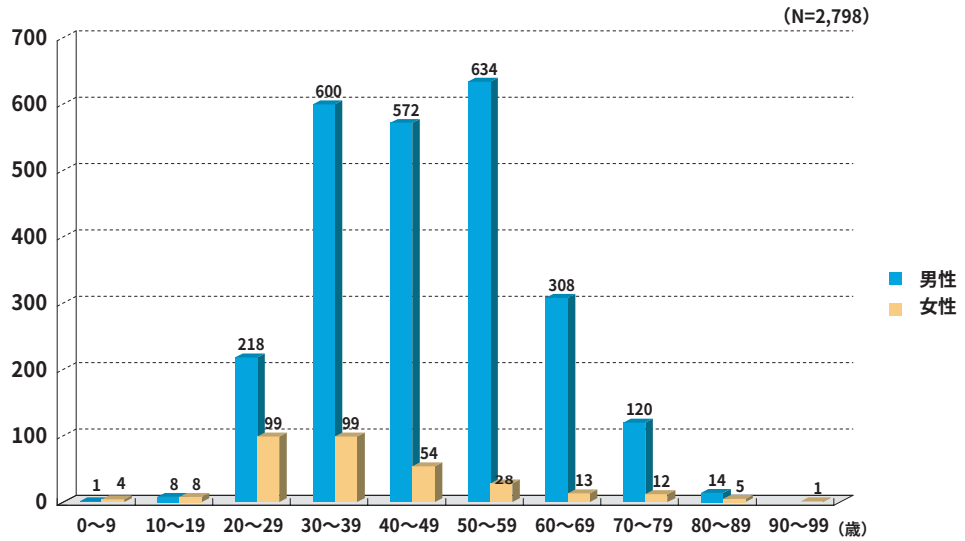


図4. アメーバ赤痢の国内感染例の性別・年齢群別報告状況(1999年4月～2006年12月)

感染経路を男女別にみた(**表**)。男性2,475例では飲食物による経口感染355例(14.3%)、性的接触810例(32.7%)、経口および性的接触32例(1.3%)、その他9例(0.4%)、不明1,269例(51.3%)であった。女性323例では飲食物による経口感染67例(20.7%)、性的接触106例(32.8%)、経口および性的接触6例(1.9%)、その他2例(0.6%)、不明142例(44.0%)であった。性的接触の内訳は、男性では同性間521例(性的接触810例の64.3%)、異性間233例(同28.8%)、異性間および同性間22例(同2.7%)の順に多く、女性では異性間100例(性的接触106例中の94.3%)がほとんどであり、同性間、異性間および同性間は各1例であった。なお、2006年において性別不明の性的接触が増加した理由としては、届出様式に「不明」の項目が追加されたことが影響している可能性がある。感染経路を年別にみると、不明がいずれの年も男女ともで大きな割合を占める。不明以外では、男性では1999年以降継続して性的接触、経口感染の順に多く、異性間性的接触および経口感染の増加傾向が認められ、女性では2002年以降継続して性的接触、経口感染の順に多く、異性間性的接触の緩やかな増加傾向が認められた。

＜国外感染例について＞

1999年4月～2006年12月の期間に報告された国外感染のアメーバ赤痢は652例あった。年間報告数は2001～2003年は横ばいであったが、2004年以降は男性での増加傾向が認められ、2006年(130例)は2000年(58例)の2.2倍であった(**図5**)。652例の性別は、男性567例、女性85例(男性/女性＝6.7/1)で国内感染同様に男性に多い。年齢の中央値は44歳(0～88歳)〔男性46歳(2～88歳)、女性29歳(0～80歳)〕で、年齢群報告数(10歳毎)を男女別にみると、国内感染例と同様に、男性は30～50代、女性は20～30代が多かった(**図6**)。

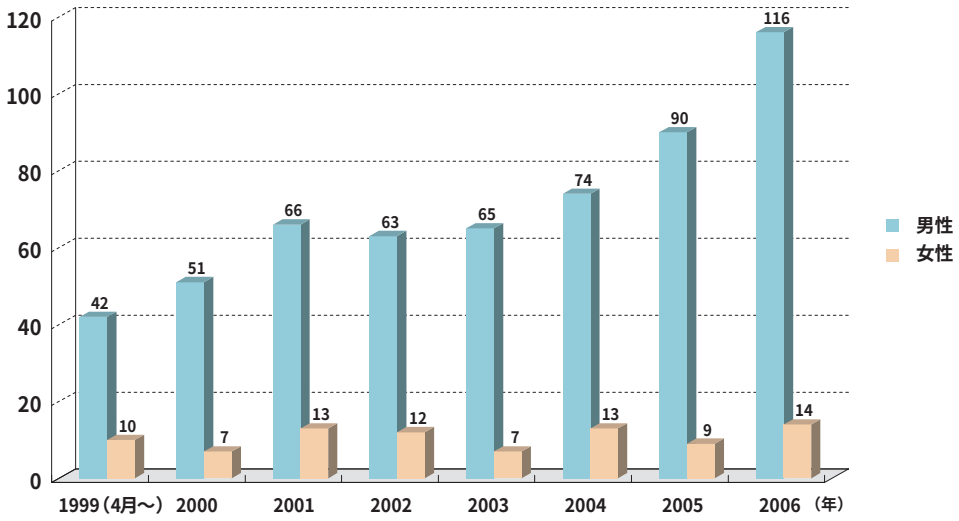


図5. アメーバ赤痢の国外感染例の年別・性別報告状況(1999年4月～2006年12月)

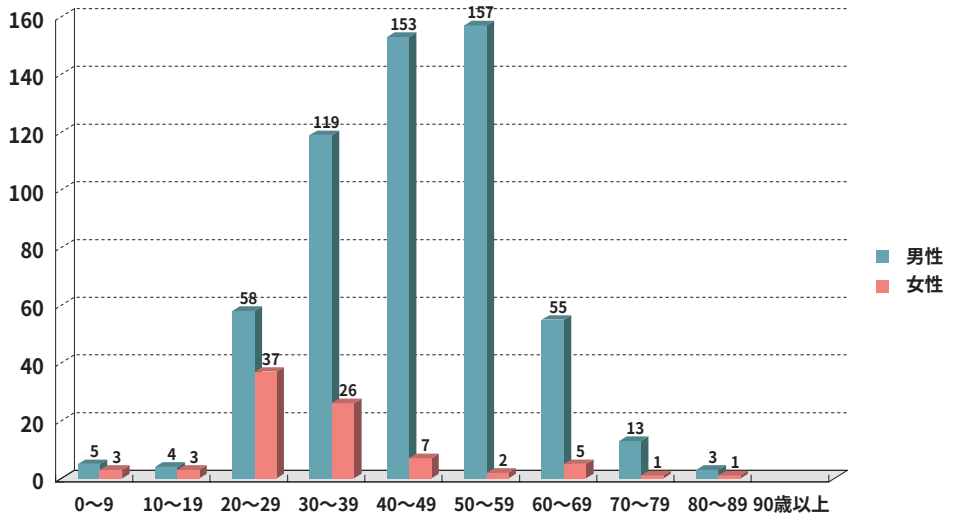


図6. アメーバ赤痢の国外感染例の性別・年齢群別報告状況(1999年4月～2006年12月)

感染経路を男女別にみた(**表**)。男性567例では飲食物による経口感染363例(64.0%)、性的接触46例(8.1%)、経口および性的接触18例(3.2%)、その他1例(0.2%)、不明139例(24.5%)であった。女性85例では飲食物による経口感染70例(82.4%)、性的接触1例(1.2%)、経口および性的接触0例、その他0例、不明14例(16.5%)であった。性的接触の内訳は、男性では異性間21例(性的接触46例の45.7%)、同性間18例(同39.1%)、異性間および同性間5例(同10.9%)の順に多かった。女性では性別不明の1例のみであった。感染経路を年別にみると、いずれの年も男女ともに経口感染が多く、男性の報告数増加も主に経口感染の増加によっていた。

国外感染例の感染国は、中国(124件:19%)、タイ(87件:13%)、インドネシア(71件:11%)、フィリピン(45件:7%)、インド(39件:6%)、大韓民国(34件:5%)の順に多かった(複数回答あり)。

表. アメーバ赤痢の感染経路（1999年4月～2006年12月）

国内感染例（男性） N=2,475

		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	総計
飲食物を介した経口感染		22	25	36	49	48	53	43	79	355
性的接触		78	75	94	84	88	107	128	156	810
	異性間	8	20	23	21	18	34	54	55	233
	同性間	67	50	67	61	67	71	66	72	521
	異性および同性間	2	5	2	2	1	0	7	3	22
	性別不明	1	0	2	0	2	2	1	26	34
経口および性的接触		6	2	9	1	6	0	2	6	32
	異性間	2	1	4	1	4	0	2	5	19
	同性間	4	1	5	0	1	0	0	0	11
	異性および同性間	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他		0	0	0	3	0	3	3	0	9
不明		55	118	107	127	178	174	240	270	1,269
総計		161	220	246	264	320	337	416	511	2,475

国内感染例（女性） N=323

		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	総計
飲食物を介した経口感染		1	11	9	5	6	7	13	15	67
性的接触		0	6	7	12	13	21	23	24	106
	異性間	0	6	7	11	12	21	22	21	100
	同性間	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	異性および同性間	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	性別不明	0	0	0	0	1	0	0	3	4
経口および性的接触		0	0	1	0	2	1	2	0	6
	異性間	0	0	1	0	2	1	2	0	6
	同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異性および同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		1	0	0	0	0	0	0	1	2
不明		3	9	10	17	12	21	38	32	142
総計		5	26	27	34	33	50	76	72	323

国外感染例（男性） N=567

		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	総計
飲食物を介した経口感染		29	32	40	40	47	49	57	69	363
性的接触		2	4	2	7	6	6	10	9	46
	異性間	0	1	2	1	3	3	6	5	21
	同性間	2	2	0	4	3	3	1	3	18
	異性および同性間	0	0	0	2	0	0	3	0	5
	性別不明	0	1	0	0	0	0	0	1	2
経口および性的接触		3	0	1	2	2	2	3	5	18
	異性間	1	0	1	0	1	1	3	3	10
	同性間	2	0	0	1	1	1	0	1	6
	異性および同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性別不明	0	0	0	1	0	0	0	1	2
その他		0	0	1	0	0	0	0	0	1
不明		8	15	22	14	10	17	20	33	139
総計		42	51	66	63	65	74	90	116	567

国外感染例（女性） N=85

		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	総計
飲食物を介した経口感染		9	7	12	11	5	9	5	12	70
性的接触		0	0	0	0	0	0	0	1	1
	異性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異性および同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	1	1
経口および性的接触		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異性および同性間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明		1	0	1	1	2	4	4	1	14
総計		10	7	13	12	7	13	9	14	85

＜腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症　2006年4～12月＞

2006年4月に届出様式の変更があり、腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症の病型が届出られるようになった。2006年4～12月に届け出られた599例のうち、腸管アメーバ症461例(男性403例、女性58例)、腸管外アメーバ症116例(男性107例、女性9例)、腸管および腸管外アメーバ症22例(男性20例、女性2例)であった。腸管外アメーバ症の症状(部位)としては、肝膿瘍130例、胸膜炎7例、心のう炎1例、膀胱炎1例(重複して計上)であった。死亡の報告は4例あり、全て腸管アメーバ症であった。

アメーバ赤痢の報告数は国内感染、国外感染ともに増加が認められている。特に国内感染例では性感染症と判断されるものが多く、また増加している。わが国においては男性同性愛者や知的障害者施設における集団感染などが注目されてきたが、最近はCSW(コマーシャルセックスワーカー)にも感染が拡大しているとされる。また、アメーバ赤痢患者が梅毒、HIV、B型肝炎等の性感染症を合併していることも指摘されていることから、総合的な性感染症対策の一環として、アメーバ赤痢対策が行われるべきと考えられる。

アメーバ赤痢については、病原微生物検出情報IASR Vol.28 No.4特集「アメーバ赤痢2003～2006」http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/326/inx326-j.html を併せてご参照ください。

◆2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型の分離－千葉県

千葉県では、2007年第41週（10/8～10/14）以降に採取された検体から10月末現在AH1亜型のインフルエンザウイルスが7株分離されている。患者は5～42歳で年齢の偏りはない。

千葉県感染症情報センターによると、千葉県は第42週（10/15～10/21）において、定点当たり患者報告数は0.29で、過去5年間では最も早い立ち上がりをみせている。今回ウイルスが分離された検体の採取地域は、県東部の山武健康福祉センター（保健所）管内、および県中央の千葉市であるが、流行は県内に拡大の様相がみられる。

ウイルス分離は、HeLa細胞を用いてトリプシン添加の無血清培地による同時まきこみ法で行った。分離されたウイルスは、国立感染症研究所から配布された2007/08シーズン用の同定キットを用いて、赤血球凝集抑制（HI）試験（0.75%モルモット赤血球使用）により同定した。その結果、抗A/Solomon Islands/3/2006（ホモ価640）に対して3株がHI価20、4株がHI価40であり、その他の抗A/Hiroshima（広島）/52/2005（同1,280）、抗B/Malaysia/2506/2004（同640）、抗B/Shanghai（上海）/361/2002（同640）に対してはいずれも＜10を示し、AH1亜型と同定した。

今回分離されたインフルエンザウイルスAH1亜型の抗原性は、2007/08シーズンのワクチン株であるA/Solomon Islands/3/2006から、HI試験で16～32倍の違いが見られ、ワクチン株とは大きく異なっていた。今後の発生動向に注意する必要があると考える。

千葉県衛生研究所
小川知子　丸ひろみ　吉住秀隆　岡田峰幸　篠崎邦子
小倉　誠　斉加志津子　三瓶憲一

（IASR 2007年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

◆2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型の分離－神奈川県

神奈川県域（横浜市、川崎市を除く）では、2007年第38週（9/17～23）からインフルエンザ患者報告があがるようになり、第43週（10/22～28）の定点当たり報告数は0.57と、過去5年間で最も早い立ち上がりとなっている。病原体定点（横須賀市と相模原市を除く神奈川県域）からは、第39週（9/24～30）～第44週（10/29～11/4）の間に7検体が搬入されており、そのうち2検体からインフルエンザウイルスAH1亜型が分離されている。また、集団かぜも4件発生しており、ウイルス分離を実施中である。

初発患者は19歳男性で第39週に、2例目は3歳女児で第41週（10/8～14）に、同じ医療機関（病原体定点）を受診している。受診時に採取された鼻咽頭材料について、MDCK細胞およびCaCo-2細胞を用いてウイルス分離を実施した。分離ウイルスは、国立感染症研究所から配布された2007/08シーズンインフルエンザウイルス同定用キットおよび0.75%モルモット赤血球を用いて同定した。その結果、2株ともに抗A/Solomon Islands/3/2006（ホモ価320）に対してHI価80、抗A/Hiroshima（広島）/52/2005（同640）、抗B/Malaysia/2506/2004（同640）、抗B/Shanghai（上海）/361/2002（同640）に対しては＜10を示し、AH1亜型と同定された。

集団かぜは、第42週（10/15～21）に相模原市で発生したのが神奈川県域初発である。以後、第43週に厚木地域、第44週に藤沢市と鎌倉地域で発生報告があり、いずれも小学校低学年における発生であった。これら4集団18名のうがい液についてMDCK細胞およびCaCo-2細胞を用いてウイルス分離を実施しており、そのうち初発集団の1名からインフルエンザウイルスAH1亜型が分離された。分離ウイルスは、抗A/Solomon Islands/3/2006（ホモ価320）に対してHI価80、抗A/Hiroshima（広島）/52/2005（同640）、抗B/Malaysia/2506/2004（同640）、抗B/Shanghai（上海）/361/2002（同640）に対しては＜10を示した。なお、他の17検体については、継代培養中である。

神奈川県域で分離されているインフルエンザウイルスAH1亜型の抗原性は、本シーズンのワクチン株であるA/Solomon Islands/3/2006のホモ価に対してHI価で4倍の差がみられた。今後の発生動向に注意する必要があると考える。

神奈川県衛生研究所微生物部
渡邉寿美　齋藤隆行　近藤真規子　佐野貴子　尾上洋一
神奈川県感染症情報センター
近内美乃里

（IASR 2007年12月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ（http://www.forth.go.jp/）をご覧下さい。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR　2007年11月12日－更新24

インドネシア保健省は、新たな鳥インフルエンザA/H5N1亜型感染患者1名を発表した。Riau州Bengkalis地区の31歳男性が、10月31日に発症、11月3日に入院し、11月6日に鳥インフルエンザ委託病院で死亡した。患者の自宅近くの大規模ツバメ飼育場の調査を含む、患者の感染源調査が進行中である。

インドネシアでは、現在までに感染が確認された113名のうち91名が死亡している。

感染症の話

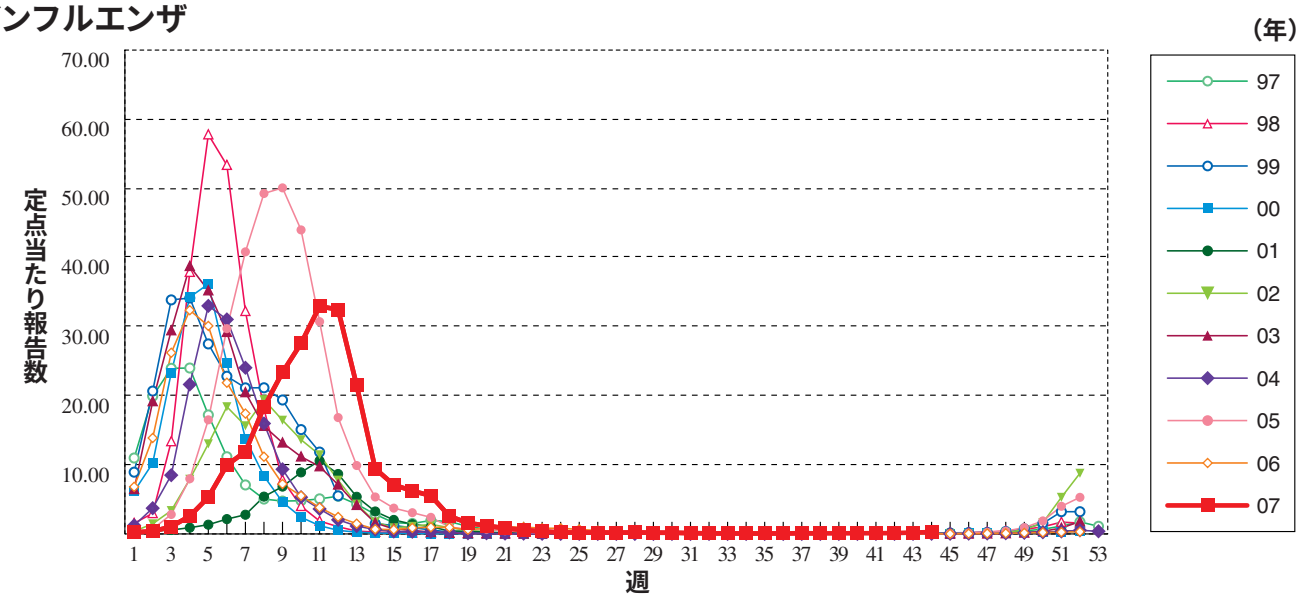
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

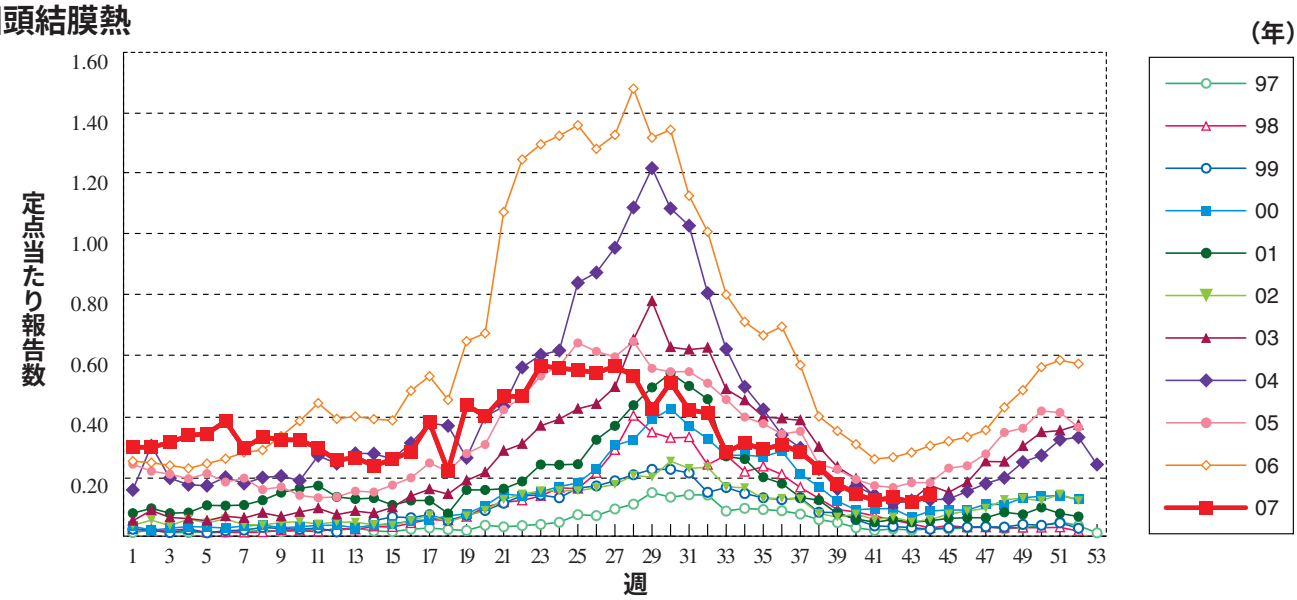
****

グラフ総覧(44週)

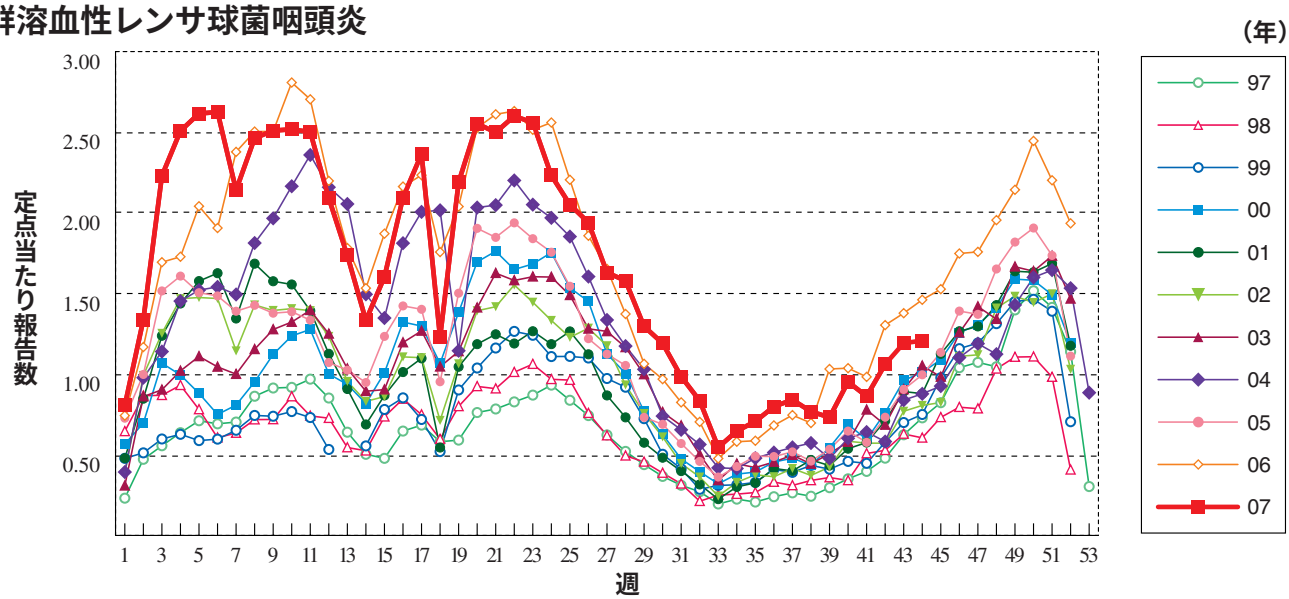
インフルエンザ



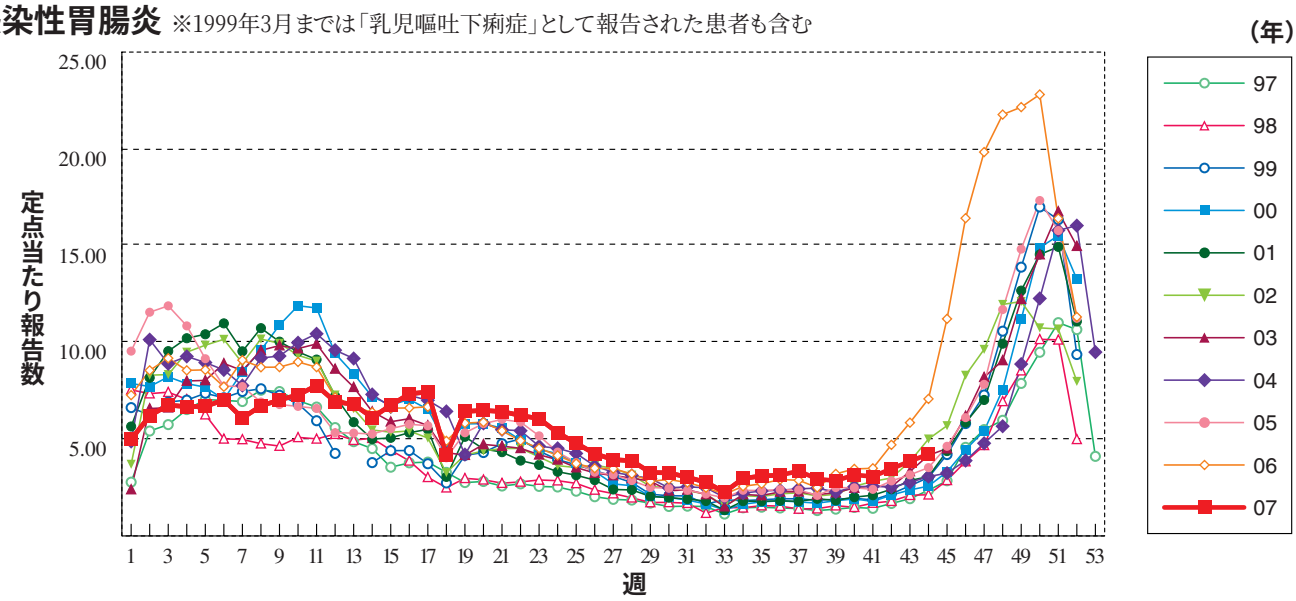
咽頭結膜熱



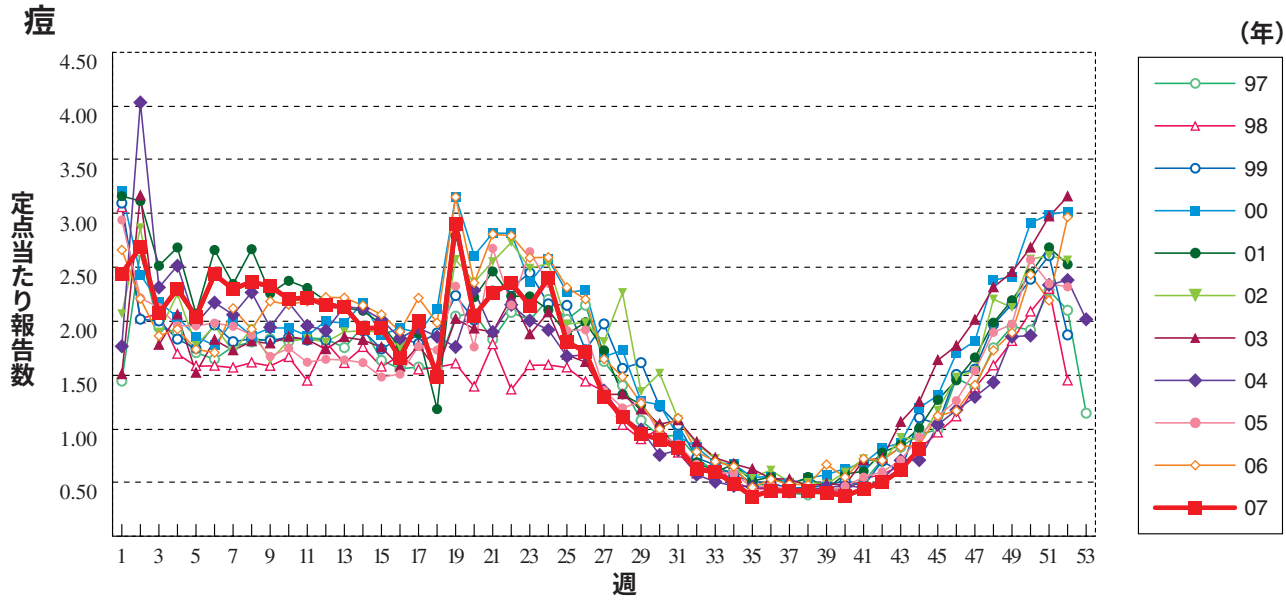
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



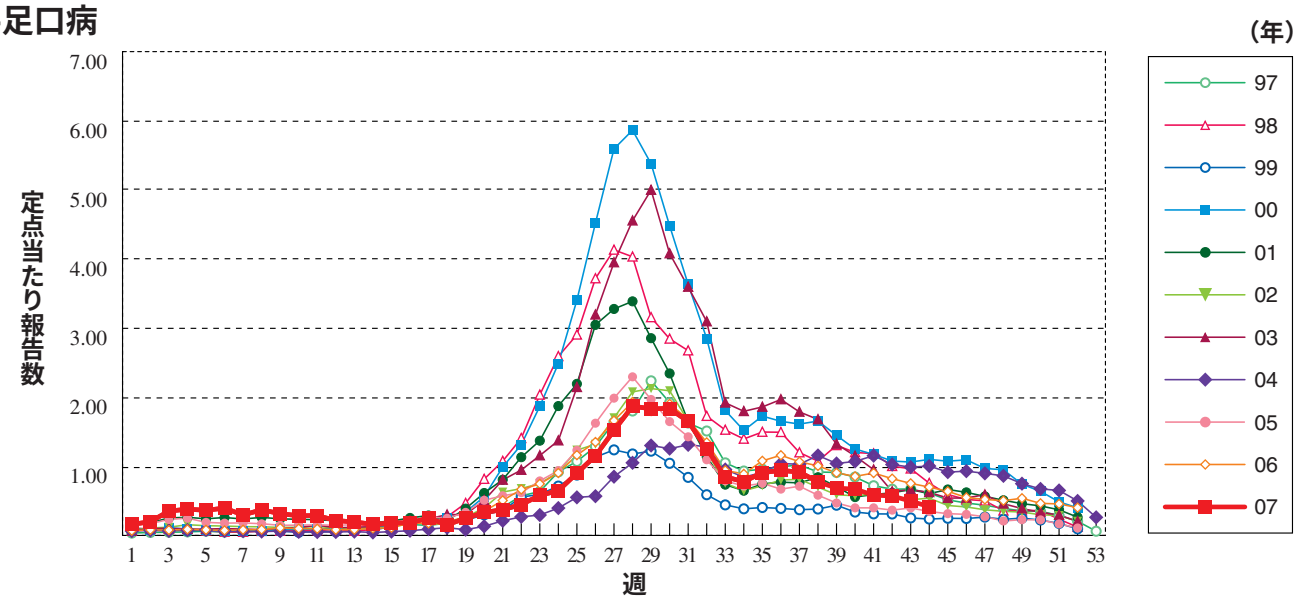
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



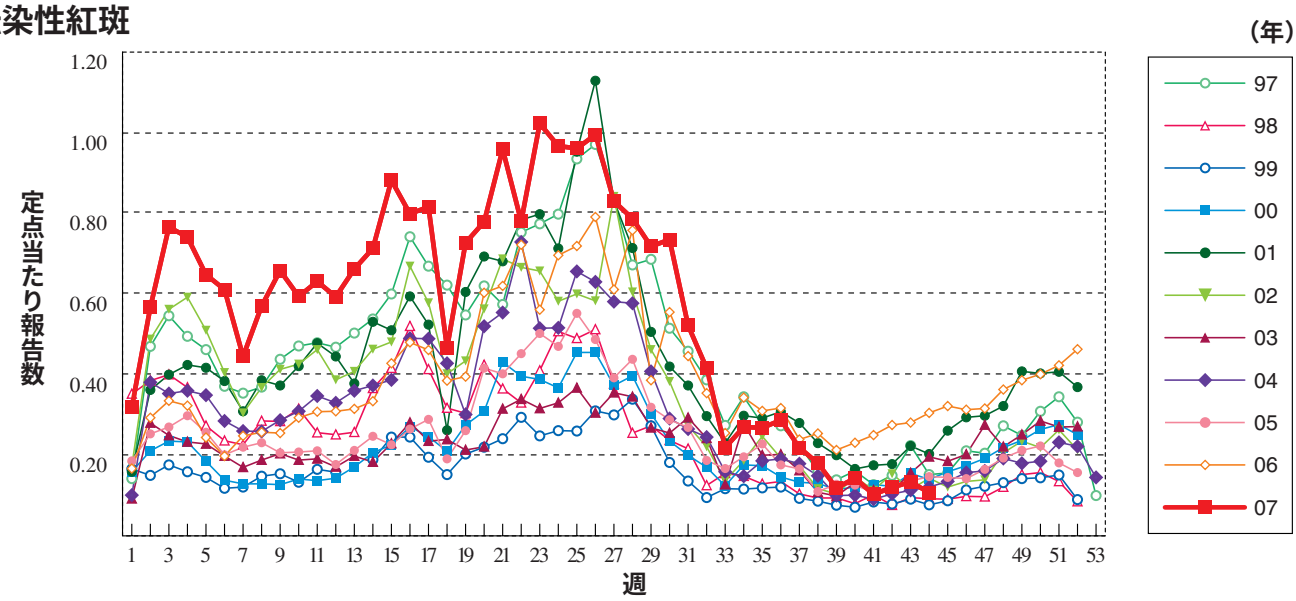
水　痘



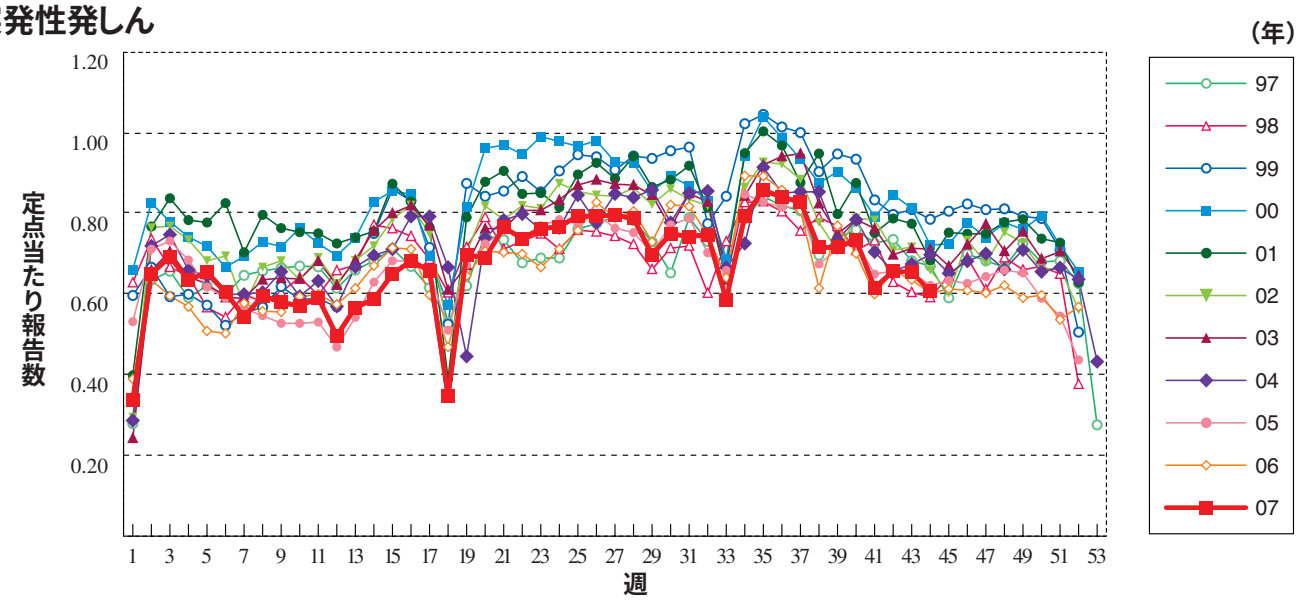
手足口病



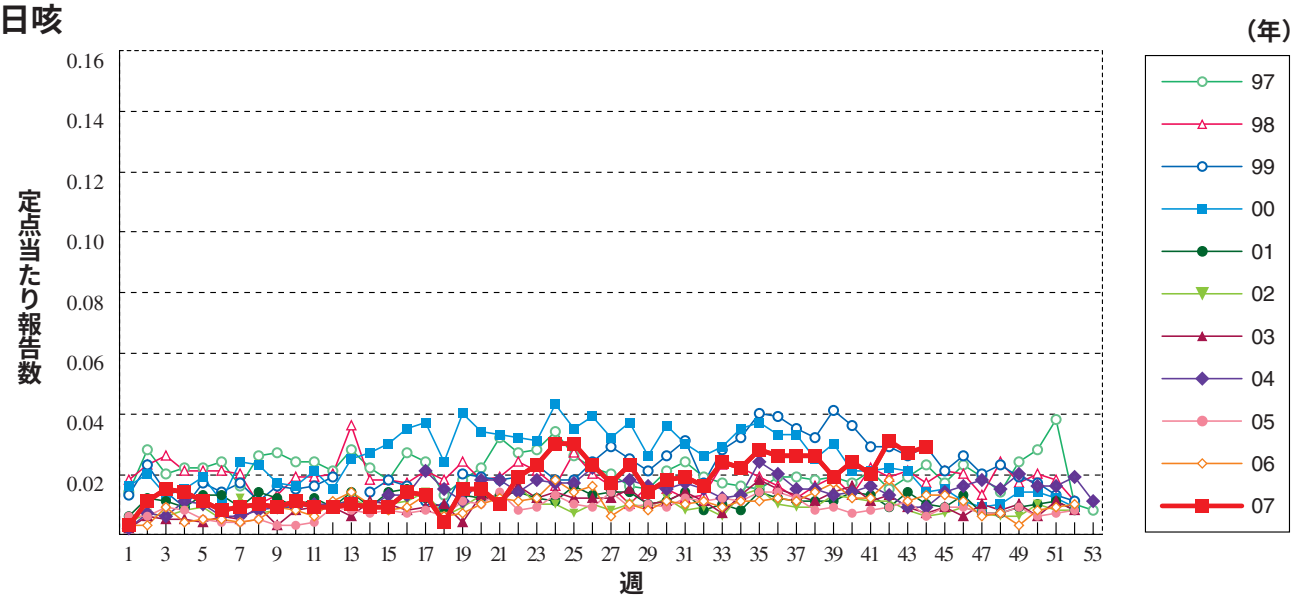
伝染性紅斑



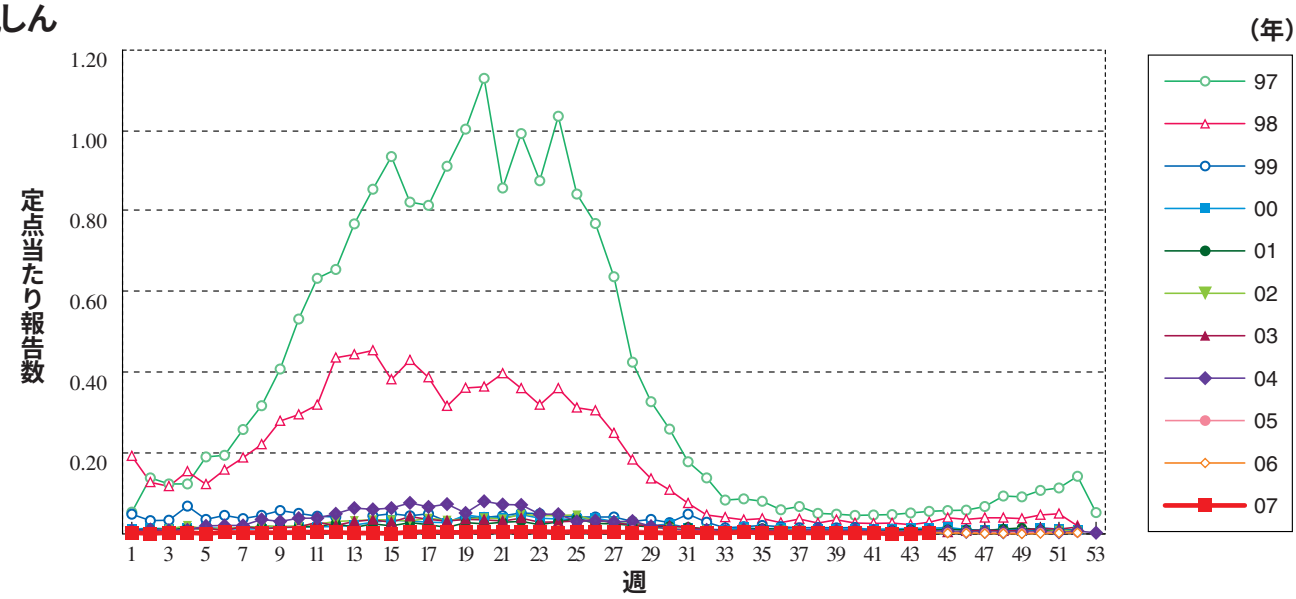
突発性発しん



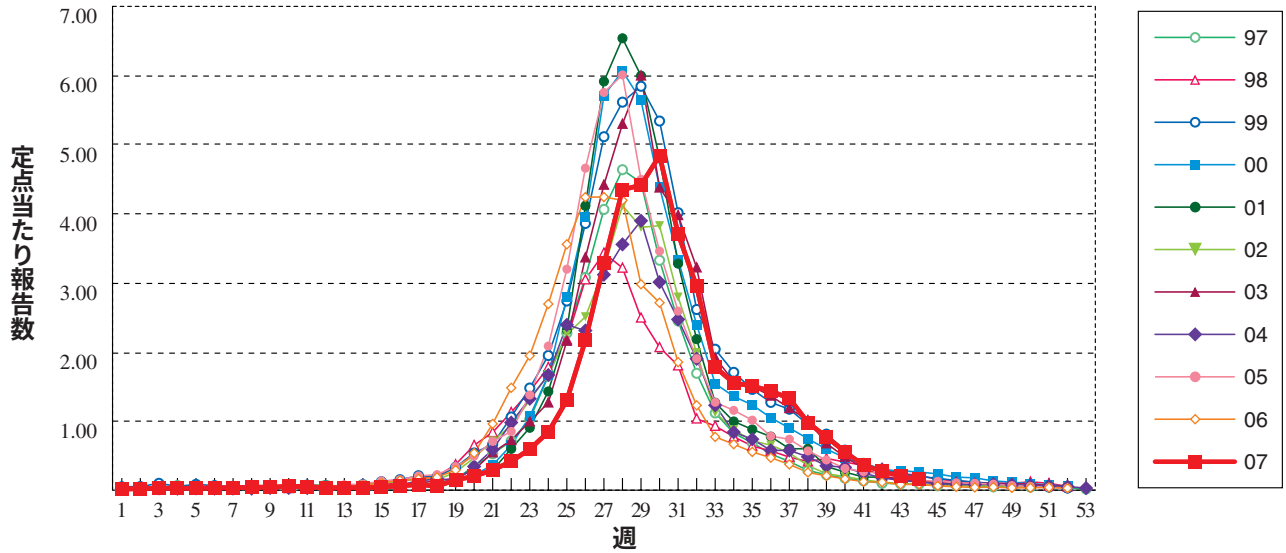
百日咳



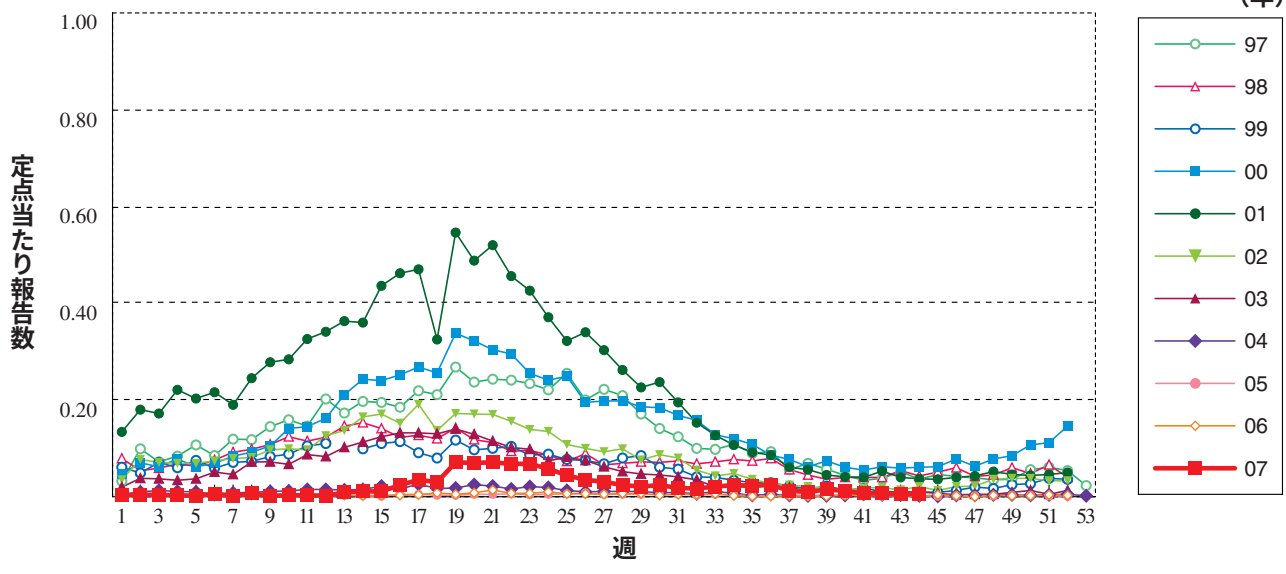
風しん



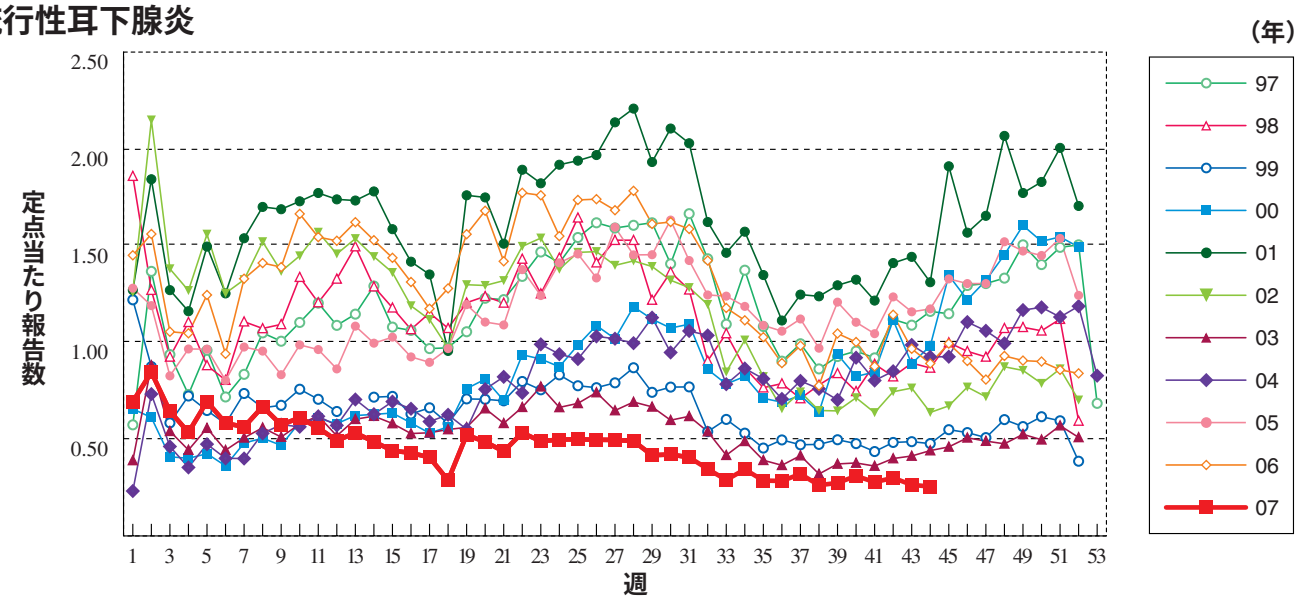
ヘルパンギーナ



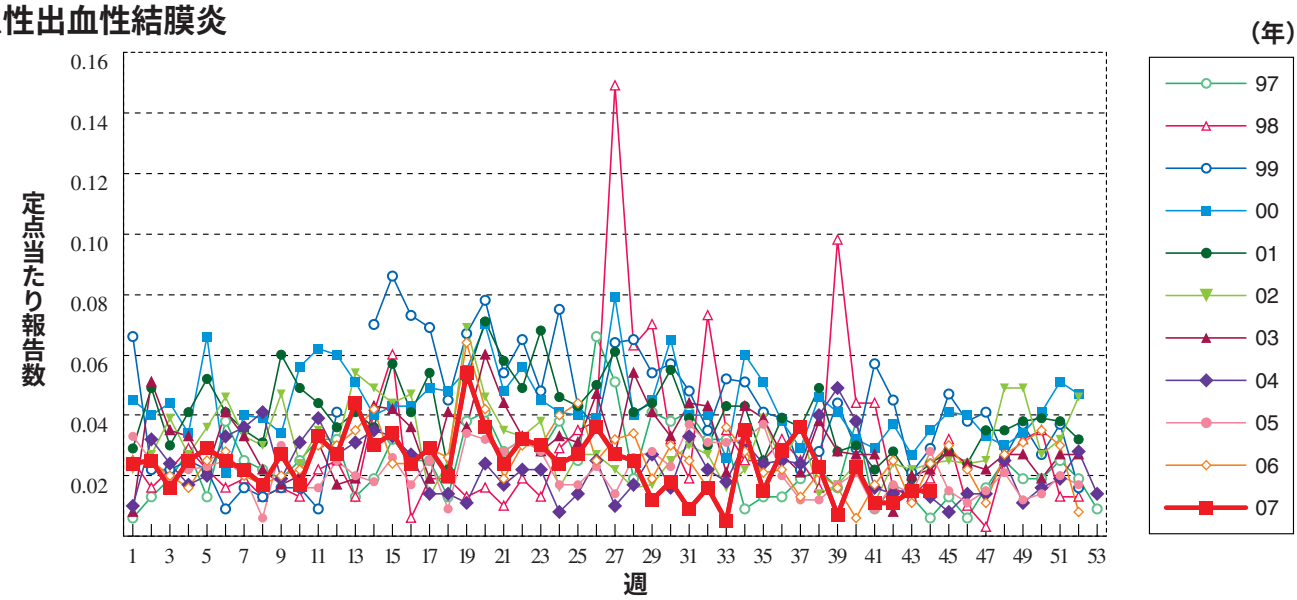
麻しん（成人麻しんを除く）※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



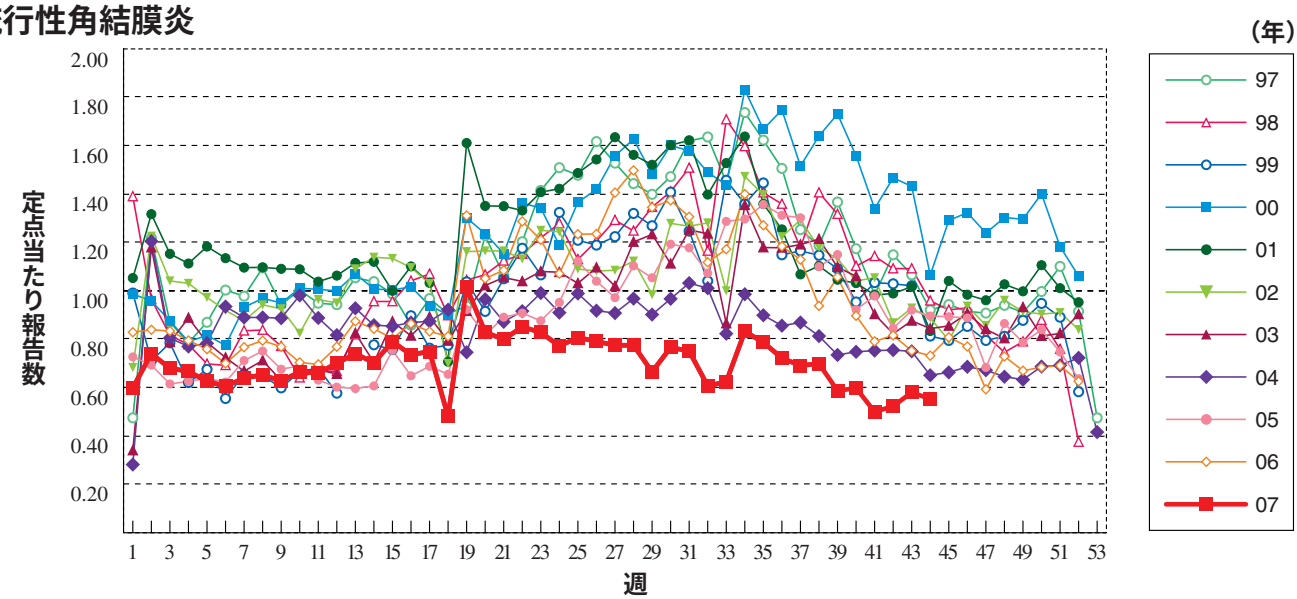
流行性耳下腺炎



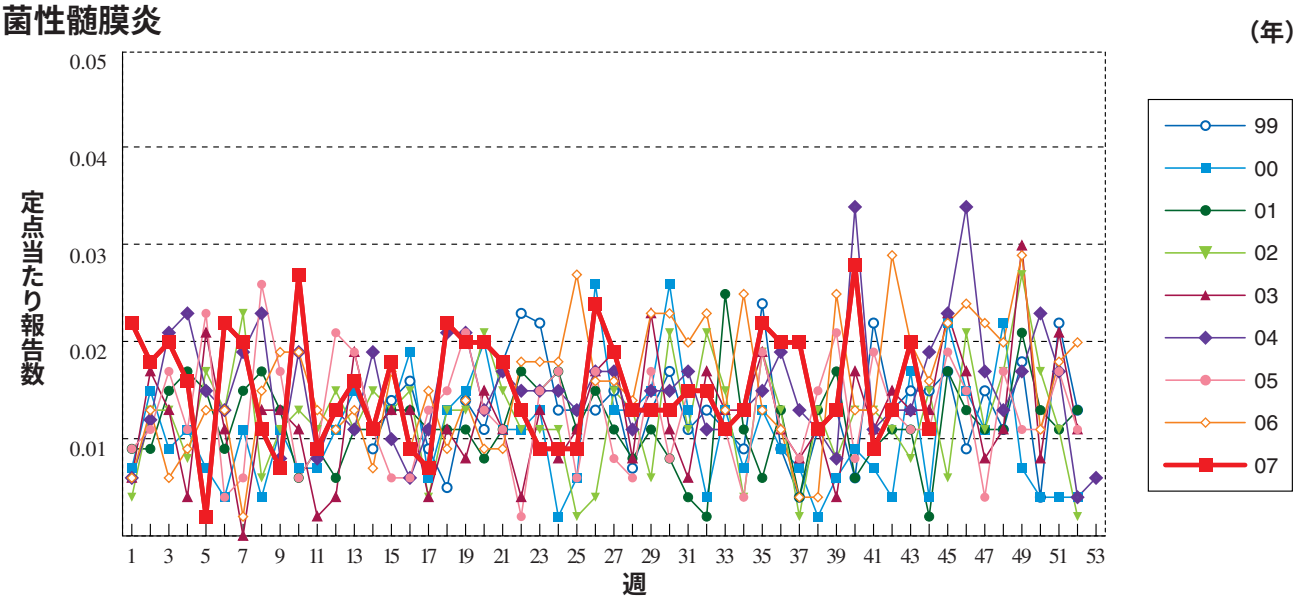
急性出血性結膜炎



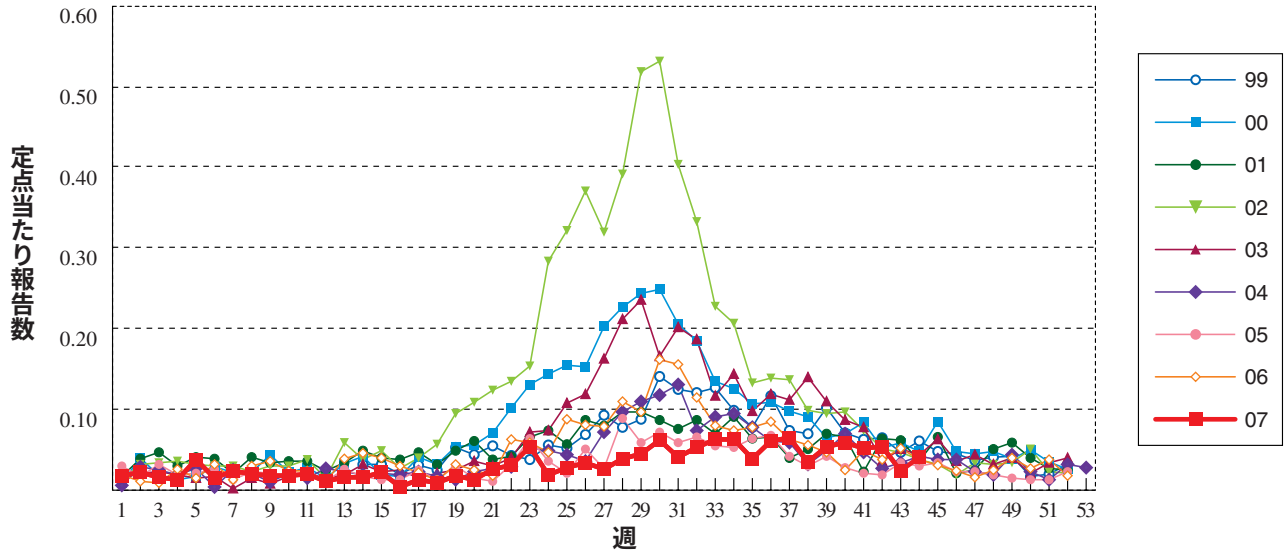
流行性角結膜炎



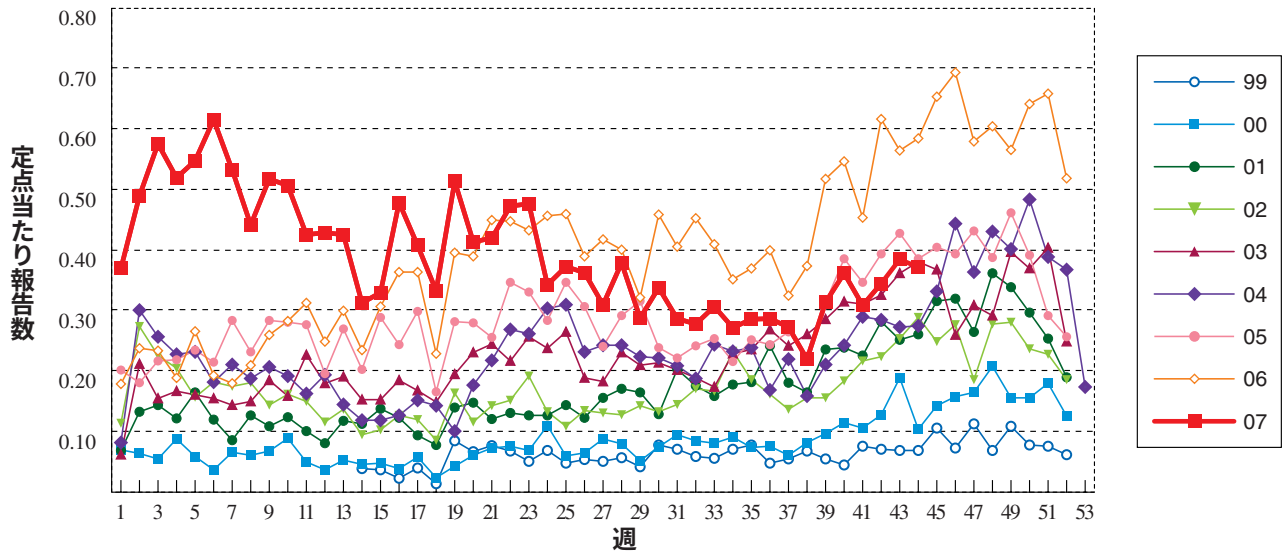
細菌性髄膜炎



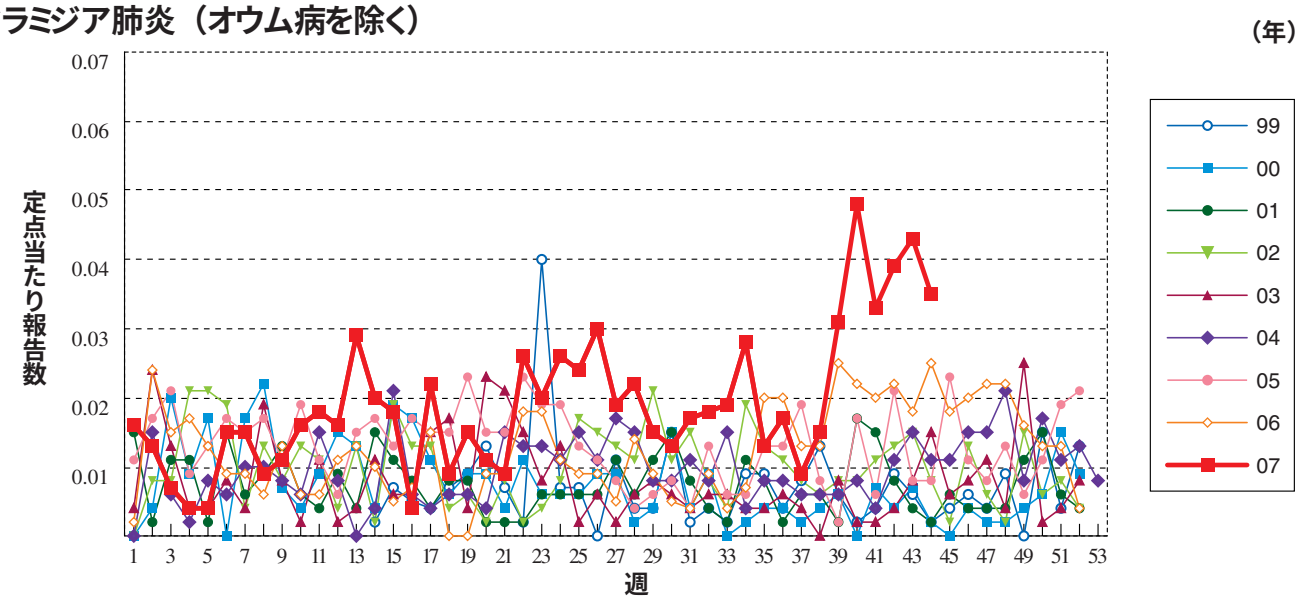
無菌性髄膜炎



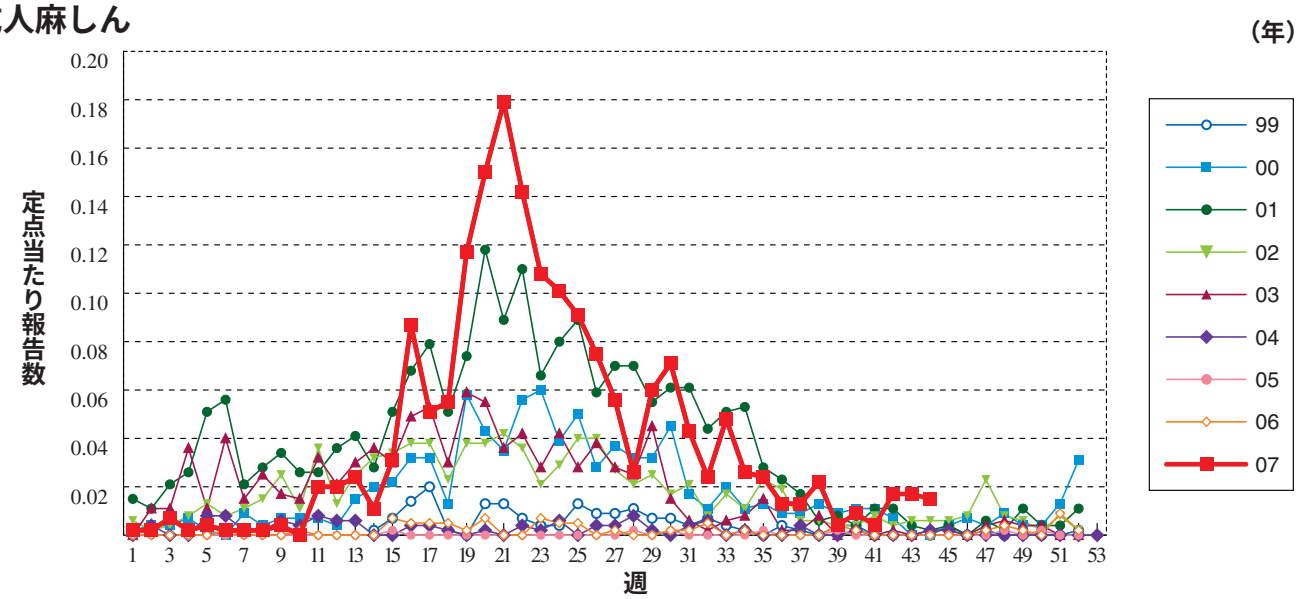
マイコプラズマ肺炎



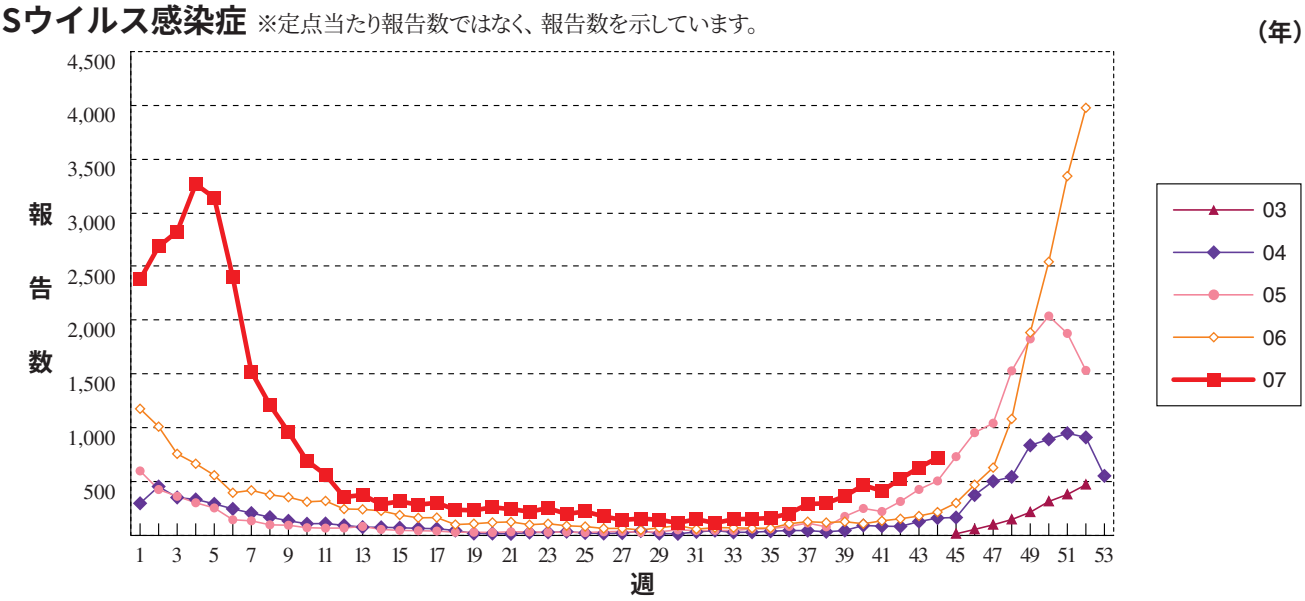
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



44週のデータ

注1）表中の報告数は11月7日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2007年44週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	292	15036
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	426
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	147
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	90
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	204
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	89
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	154
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	292
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	177
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	150
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	641
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	806
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	2350
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	994
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	238
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	124
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	89
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	158
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	284
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	288
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1112
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	249
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	148
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	399
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	940
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	544
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	178
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	146
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	78
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	217
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	349
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	170
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	123
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	86
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	213
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	106
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	781
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	124
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	266
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	134
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	146
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	241
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	137

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年44週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	12	3	408	70	4222	-	42	1	17	1	49	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	3	107	-	1	-	-	-	9	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	4	240	-	1	-	2	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	1	59	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	53	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	49	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	36	-	-	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	71	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	1	62	1	148	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	38	4	165	-	1	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	1	73	4	440	-	11	1	5	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	164	-	-	-	2	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	30	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	5	41	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	16	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	60	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	41	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	31	3	73	-	1	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	25	3	156	-	3	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	52	-	-	-	1	1	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	1	52	-	413	-	9	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	7	6	186	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	44	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	95	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	1	77	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	43	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	6	210	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	39	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	86	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	126	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	65	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	6	108	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	60	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q 熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	130	-	13	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
北海道	-	7	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	17	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	109	1	81	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	22	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	4	75	2	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	2	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	2	3	46	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年44週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	15	548	1	25	-	-	11	654	4	198	1	194	-	6	1	119	-	84
北海道	1	28	-	-	-	-	-	20	-	5	1	10	-	-	-	2	-	6
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	12	-	-	-	-	-	24	1	3	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	2
福島県	1	11	-	-	-	-	1	6	-	2	-	3	-	-	-	1	-	1
茨城県	-	15	-	-	-	-	-	10	-	2	-	9	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	10	-	-	-	-	-	4	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	3	28	-	1	-	-	-	25	-	1	-	10	-	-	-	4	-	5
千葉県	-	17	-	-	-	-	-	28	-	-	-	14	-	-	-	7	-	4
東京都	1	46	-	3	-	-	2	144	-	34	-	16	-	1	-	11	-	6
神奈川県	2	39	-	1	-	-	2	66	1	13	-	5	-	1	-	8	-	11
新潟県	1	13	-	1	-	-	1	3	-	-	-	7	-	1	-	5	-	1
富山県	1	13	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	2
石川県	-	11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	1	3	-	-
福井県	1	3	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	13	-	-	-	-	-	12	-	4	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	1	16	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	26	-	1	-	-	1	20	-	2	-	2	-	-	-	3	-	2
愛知県	2	34	-	-	-	-	1	42	-	6	-	4	-	-	-	5	-	5
三重県	-	8	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	6	-	-	-	-	1	12	-	2	-	2	-	-	-	4	-	-
京都府	-	14	-	-	-	-	1	20	-	7	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	33	-	-	-	-	-	66	-	21	-	28	-	-	-	6	-	4
兵庫県	-	19	-	-	-	-	1	30	-	14	-	10	-	-	-	8	-	2
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	6	-	5	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	9	-	-	-	-	-	6	-	13	-	1	-	-	-	2	-	3
広島県	-	22	-	-	-	-	-	8	1	11	-	3	-	1	-	3	-	4
山口県	-	7	-	-	-	-	-	6	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1
愛媛県	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1
福岡県	-	17	-	1	-	-	-	24	-	8	-	6	-	1	-	3	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	8	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	4	-	-	-	5	-	2	-	19	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	1	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	2	-	3
沖縄県	-	7	1	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年44週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ（H5N1）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	17	1228	-	44	-	13	-	-	8	592	1	80	-	-	2	65	-	-
北海道	-	18	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	11	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	8	1	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	17	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	2	19	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	18	-	-	-	1	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	30	-	-	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	1	48	-	3	-	1	-	-	-	19	-	4	-	-	-	-	-	-
東京都	8	412	-	15	-	2	-	-	3	132	-	1	-	-	1	14	-	-
神奈川県	1	82	-	7	-	-	-	-	-	34	-	6	-	-	-	14	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1	-	-
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	13	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	1	4	-	-
岐阜県	-	17	-	1	-	-	-	-	1	15	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	33	-	-	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	3	-	-
愛知県	1	108	-	1	-	1	-	-	1	57	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	14	-	1	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	16	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	1	153	-	7	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	26	-	1	-	1	-	-	1	15	-	2	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	18	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	5	-	-	-	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	31	-	-	-	1	-	-	-	34	-	2	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	9	-	-	-	-	-	-	-	43	-	6	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	15	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	23	-	-	-	1	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1217	0.26	405	0.14	3621	1.21	12665	4.23	2437	0.81	1248	0.42	321	0.11	1818	0.61	86	0.03
北海道	199	0.89	31	0.22	286	2.00	597	4.17	206	1.44	55	0.38	20	0.14	51	0.36	9	0.06
青森県	-	-	15	0.36	36	0.86	97	2.31	58	1.38	53	1.26	2	0.05	14	0.33	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	47	1.21	107	2.74	93	2.38	46	1.18	8	0.21	18	0.46	-	-
宮城県	6	0.06	5	0.08	90	1.50	250	4.17	85	1.42	86	1.43	18	0.30	59	0.98	-	-
秋田県	3	0.05	2	0.06	34	0.97	112	3.20	22	0.63	33	0.94	4	0.11	21	0.60	2	0.06
山形県	-	-	1	0.03	73	2.43	346	11.53	27	0.90	18	0.60	5	0.17	25	0.83	1	0.03
福島県	5	0.06	7	0.15	71	1.48	179	3.73	73	1.52	17	0.35	4	0.08	36	0.75	2	0.04
茨城県	2	0.02	5	0.07	102	1.36	184	2.45	30	0.40	20	0.27	3	0.04	21	0.28	-	-
栃木県	1	0.01	-	-	67	1.43	89	1.89	37	0.79	15	0.32	10	0.21	30	0.64	1	0.02
群馬県	5	0.05	6	0.10	96	1.57	243	3.98	35	0.57	16	0.26	8	0.13	36	0.59	1	0.02
埼玉県	36	0.15	26	0.16	332	2.10	723	4.58	119	0.75	51	0.32	18	0.11	105	0.66	7	0.04
千葉県	114	0.61	12	0.10	122	1.02	299	2.49	107	0.89	52	0.43	31	0.26	75	0.63	15	0.13
東京都	174	0.61	28	0.19	198	1.34	554	3.74	96	0.65	50	0.34	15	0.10	77	0.52	2	0.01
神奈川県	185	0.66	10	0.05	210	1.14	679	3.67	148	0.80	87	0.47	25	0.14	113	0.61	3	0.02
新潟県	-	-	3	0.05	83	1.36	164	2.69	89	1.46	18	0.30	33	0.54	49	0.80	1	0.02
富山県	10	0.21	2	0.07	61	2.10	119	4.10	28	0.97	12	0.41	1	0.03	19	0.66	-	-
石川県	-	-	9	0.31	67	2.31	127	4.38	51	1.76	9	0.31	2	0.07	15	0.52	-	-
福井県	1	0.03	3	0.14	23	1.05	112	5.09	7	0.32	1	0.05	8	0.36	13	0.59	-	-
山梨県	-	-	3	0.13	18	0.75	28	1.17	6	0.25	1	0.04	-	-	8	0.33	1	0.04
長野県	7	0.08	4	0.07	53	0.96	150	2.73	66	1.20	8	0.15	6	0.11	31	0.56	5	0.09
岐阜県	7	0.08	11	0.21	22	0.42	88	1.66	25	0.47	10	0.19	-	-	22	0.42	1	0.02
静岡県	39	0.32	7	0.08	113	1.31	314	3.65	49	0.57	18	0.21	2	0.02	74	0.86	-	-
愛知県	13	0.07	15	0.08	186	1.03	459	2.54	110	0.61	46	0.25	4	0.02	126	0.70	8	0.04
三重県	1	0.01	5	0.11	40	0.89	194	4.31	33	0.73	28	0.62	12	0.27	49	1.09	-	-
滋賀県	20	0.38	5	0.16	23	0.72	102	3.19	20	0.63	7	0.22	1	0.03	17	0.53	-	-
京都府	3	0.03	3	0.04	42	0.61	257	3.72	35	0.51	7	0.10	2	0.03	24	0.35	-	-
大阪府	25	0.10	37	0.19	296	1.53	800	4.15	159	0.82	51	0.26	14	0.07	114	0.59	7	0.04
兵庫県	56	0.28	7	0.05	95	0.74	589	4.57	70	0.54	9	0.07	11	0.09	83	0.64	5	0.04
奈良県	12	0.22	7	0.20	19	0.54	76	2.17	22	0.63	12	0.34	3	0.09	12	0.34	-	-
和歌山県	48	0.96	5	0.16	16	0.52	147	4.74	19	0.61	7	0.23	2	0.06	16	0.52	-	-
鳥取県	2	0.07	2	0.11	47	2.47	133	7.00	12	0.63	6	0.32	-	-	14	0.74	-	-
島根県	-	-	3	0.13	20	0.87	185	8.04	12	0.52	52	2.26	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	23	0.29	6	0.11	29	0.54	227	4.20	26	0.48	4	0.07	4	0.07	21	0.39	2	0.04
広島県	14	0.12	23	0.32	45	0.63	432	6.00	64	0.89	4	0.06	2	0.03	41	0.57	-	-
山口県	2	0.03	6	0.12	90	1.84	299	6.10	37	0.76	9	0.18	4	0.08	47	0.96	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	24	1.04	56	2.43	15	0.65	2	0.09	1	0.04	9	0.39	1	0.04
香川県	3	0.06	-	-	14	0.48	137	4.72	10	0.34	6	0.21	3	0.10	12	0.41	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	86	2.32	137	3.70	44	1.19	14	0.38	2	0.05	28	0.76	2	0.05
高知県	-	-	8	0.27	16	0.53	111	3.70	13	0.43	21	0.70	4	0.13	12	0.40	-	-
福岡県	3	0.02	17	0.14	104	0.87	848	7.07	111	0.93	80	0.67	-	-	85	0.71	5	0.04
佐賀県	-	-	8	0.35	19	0.83	65	2.83	9	0.39	4	0.17	1	0.04	20	0.87	-	-
長崎県	14	0.20	13	0.30	20	0.45	103	2.34	23	0.52	14	0.32	5	0.11	26	0.59	-	-
熊本県	3	0.04	19	0.40	30	0.63	449	9.35	32	0.67	12	0.25	2	0.04	39	0.81	2	0.04
大分県	-	-	6	0.17	40	1.11	314	8.72	37	1.03	65	1.81	10	0.28	36	1.00	-	-
宮崎県	1	0.02	10	0.29	42	1.20	671	19.17	28	0.80	7	0.20	2	0.06	26	0.74	-	-
鹿児島県	4	0.04	5	0.09	63	1.13	216	3.86	17	0.30	30	0.54	7	0.13	25	0.45	-	-
沖縄県	176	3.03	1	0.03	11	0.32	97	2.85	22	0.65	75	2.21	1	0.03	7	0.21	3	0.09

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん(成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	9	0.00	473	0.16	19	0.01	765	0.26	10	0.02	368	0.55	5	0.01	19	0.04	172	0.37
北海道	1	0.01	60	0.42	3	0.02	19	0.13	1	0.03	6	0.21	-	-	-	-	5	0.22
青森県	-	-	4	0.10	2	0.05	7	0.17	-	-	4	0.36	-	-	-	-	8	1.33
岩手県	-	-	29	0.74	-	-	21	0.54	-	-	6	0.50	-	-	-	-	9	0.45
宮城県	-	-	1	0.02	-	-	24	0.40	-	-	-	-	1	0.08	-	-	19	1.58
秋田県	1	0.03	8	0.23	-	-	45	1.29	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	5	0.17	-	-	3	0.10	-	-	1	0.13	-	-	-	-	10	1.00
福島県	-	-	14	0.29	-	-	3	0.06	-	-	23	1.92	-	-	-	-	19	2.71
茨城県	-	-	2	0.03	-	-	5	0.07	-	-	21	1.24	-	-	-	-	1	0.08
栃木県	-	-	12	0.26	-	-	14	0.30	-	-	7	0.58	-	-	3	0.43	2	0.29
群馬県	-	-	11	0.18	-	-	37	0.61	-	-	22	1.57	1	0.13	-	-	7	0.88
埼玉県	-	-	30	0.19	-	-	33	0.21	1	0.02	18	0.44	-	-	-	-	6	0.67
千葉県	2	0.02	42	0.35	-	-	24	0.20	1	0.03	16	0.55	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	23	0.16	2	0.01	17	0.11	1	0.03	22	0.56	-	-	1	0.04	6	0.24
神奈川県	1	0.01	13	0.07	2	0.01	21	0.11	-	-	30	0.77	-	-	2	0.29	3	0.43
新潟県	-	-	14	0.23	1	0.02	29	0.48	-	-	7	0.64	-	-	-	-	9	0.75
富山県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	-	-	-	-	3	0.10	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	2	0.09	-	-	9	0.41	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	6	0.25	-	-	2	0.22	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	7	0.13	-	-	7	0.13	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	4	0.08	-	-	14	0.26	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	29	0.34	1	0.01	25	0.29	-	-	7	0.35	-	-	-	-	4	0.44
愛知県	-	-	30	0.17	1	0.01	64	0.35	-	-	3	0.09	-	-	1	0.06	4	0.25
三重県	-	-	8	0.18	-	-	4	0.09	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	5	0.16	-	-	14	0.44	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	9	0.13	-	-	19	0.28	-	-	10	0.56	-	-	1	0.14	-	-
大阪府	-	-	12	0.06	2	0.01	51	0.26	1	0.02	5	0.11	1	0.08	-	-	8	0.62
兵庫県	-	-	8	0.06	-	-	46	0.36	-	-	16	0.46	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	3	0.09	-	-	5	0.56	1	0.17	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	1	0.03	-	-	3	0.75	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	6	0.75	2	0.25
岡山県	1	0.02	12	0.22	-	-	22	0.41	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	9	0.13	-	-	12	0.17	-	-	11	0.58	-	-	-	-	4	0.19
山口県	-	-	6	0.12	-	-	13	0.27	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	1	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	8	0.28	-	-	9	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	7	0.19	-	-	6	0.16	-	-	17	2.13	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	8	0.27	-	-	13	0.43	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	6	0.05	3	0.03	48	0.40	4	0.15	15	0.58	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	13	0.30	-	-	17	2.13	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	12	0.25	-	-	9	0.19	-	-	10	1.11	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	7	0.19	1	0.03	15	0.42	-	-	2	0.40	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	6	0.17	-	-	22	0.63	-	-	3	0.50	-	-	1	0.14	4	0.57
鹿児島県	-	-	1	0.02	1	0.02	5	0.09	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	-	-	-	-	15	1.50	-	-	-	-	17	2.43

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年44週

	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総　数	16	0.03	7	0.02	722
北海道	-	-	-	-	32
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	1	0.10	2	0.20	4
福島県	1	0.14	-	-	29
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	2	0.22	1	0.11	20
千葉県	-	-	-	-	8
東京都	1	0.04	-	-	56
神奈川県	-	-	-	-	45
新潟県	8	0.67	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	7
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	12
静岡県	-	-	-	-	11
愛知県	1	0.06	-	-	10
三重県	-	-	-	-	7
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	31
奈良県	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	3
島根県	1	0.13	-	-	2
岡山県	1	0.20	-	-	9
広島県	-	-	1	0.05	7
山口県	-	-	-	-	21
徳島県	-	-	-	-	29
香川県	-	-	-	-	22
愛媛県	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	119
佐賀県	-	-	-	-	10
長崎県	-	-	1	0.08	6
熊本県	-	-	-	-	20
大分県	-	-	-	-	11
宮崎県	-	-	-	-	13
鹿児島県	-	-	-	-	21
沖縄県	-	-	2	0.29	4

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年44週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群（SARS）						結　核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年44週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	1	-	5
北海道	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報　第9巻　第44号　2007年11月16日発行
発　行：国立感染症研究所
　　厚生労働省健康局結核感染症課
　　厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
　　〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
　　ＴＥＬ：03-5285-1111
　　ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
　　＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
　　http://www.mhlw.go.jp/
　　＜厚生労働省＞
　　http://www.forth.go.jp/
　　＜旅行者のための海外感染症情報（厚生労働省検疫所）＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。
また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。
「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。
なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。